



〈2024-25 年度 RI 会長テーマ〉



2024-25 年度 RI 会長
ステファニー A. アーチック

国際ロータリー第 2830 地区
2024-25 年度

地区要覧

〈2024-25 年度 地区スローガン〉

個性輝くロータリー

2024-25 年度 ガバナー
花田 勝彦



Contents

ロータリーの目的／四つのテスト	1
ロータリー行動計画	2
ロータリーの誕生とその成長／日本のロータリー	3
RI会長メッセージ	4
ガバナーメッセージ	6
ガバナーエレクトメッセージ	8
ガバナー補佐紹介	9
地区委員会活動計画	12
QRコード集	20
ロータリー賞／クラブ優秀賞目標と達成方法に関する説明	23
近時の国際ロータリー理事会の決定事項のうち、特に重要な事項	25

地区案内

地区組織図	28
地区委員会構成	29
地区主要行事予定表	30
ガバナー公式訪問予定表	31
ガバナー公式訪問カレンダー	32
地区予算書	33
特別会計収支計算書	34
委員会活動予算書	34
送金カレンダー	35
報告カレンダー	36
ロータリー関係事務所一覧	37
地区内クラブ一覧表	38
地区事務所組織表	40

地区規定

地区資金規定	42
地区運営資金要綱	44
会合旅費等負担一覧表	45
国際平和資金規定	48
地区表彰実施要綱	49
ガバナー指名委員会及び諮問委員会規定	51
地区危機管理委員会規定	52
青少年保護方針	54



ロータリーの目的 (OBJECT OF ROTARY)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト (THE FOUR-WAY TEST)

言行はこれに照らしてから Of the things we think,say or do

- 1) 真実か どうか
Is it the TRUTH ?
- 2) みんなに公平か
Is it FAIR to all concerned ?
- 3) 好意と友情を深めるか
Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- 4) みんなのためになるか どうか
Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

ロータリー行動計画



私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。**より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。**国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するため、今後数年の活動を方向づける四つの優先事項が定められました。

より大きな
インパクト
をもたらす

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の
基盤を
広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリー参加の新しい道筋を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的な
かかわりを
促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を
高める

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な視点を助長するために、ガバナンスを見直す

4410-JA-(722)

◆ ロータリーの誕生とその成長



ポール・ハリス

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人らと語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,902、会員総数1,177,787人(2024年3月19日現在)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に目を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。



ロータリーのはじめの4人

左から ガスターバス E.、ローア
シルベスター・シール
ハイラム E. ショーレー
ポール・ハリス

◆ 日本のロータリー



米山梅吉

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,204、会員数84,254人(2024年2月29日現在)となっています。



福島喜三次



ロータリーのマジック

2024-25 年度

国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

マクマリー RC
(アメリカ・ペンシルバニア州)

ロータリーファミリーの皆さま、こんにちは。魅力あふれるチーム(the Irresistibles)の皆さまに向けてお話しでき光栄です。私は、本当に、皆さまを家族同様に思っています。

数週間後に私は、素晴らしいヘルスワーカーの女性たちとお会いするためにパキスタンを訪れます。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。

ヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。

ポリオプラス・ソサエティへの参加や設立、地元の議員や政府のリーダーにポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項です。

クラブでの体験を魅力的なものとするために、ロータリーの行動計画があります。行動計画は、クラブの強みと弱み、改善点を特定する上で役立つものです。クラブがよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるよう、皆さま全員に行動計画の推進者となっていただくようお願いいたします。

多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注ぐことで、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

平和構築は私の最優先事項の一つです。トルコのイスタンブールにあるパーチェシヒル大学に新たなロータリー平和センターを設置する予定です。2025年2月には、「分断された世界を癒す」というテーマで、ロータリー会長平和会議を開催します。

私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。そして、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければなりません。

思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは、他者を助けることに喜びを見出しますが、バランスを取るという難題にも直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

私のテーマカラーにオレンジとスカイブルーを選んだのは、このためです。オレンジは、変化を

表します。青は、知識や知性、信頼を連想させます。自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しています。

数年前、私はドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。

もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になればと知ったことで、私の人生も変わったのです。

このため、私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」です。

誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。

それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです。

私たちの1年が終わるとき、このマジックが続いていくようにする準備ができている人が大勢いるかどうかは、私たち次第です。

私はロータリーファミリーを愛しています。皆さまには地区のすべてのクラブを魅力的にする力があると知っています。学んだシンプルなことが、皆さまのロータリー人生を変えるかもしれません。そのような機会を見逃さないでください。

「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。

プロフィール

2024-25年度
国際ロータリー会長

ステファニーA. アーチック氏

McMurray ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)所属。2024-25年度 RI 会長。RI 理事、ロータリー財団管理委員、研修リーダー、ロータリー財団地域コーディネーター、RI 会長代理など、RI で数多くの役職を歴任。また、3回の規定審議会で代表議員と特別議員を務める。

ロータリー戦略計画委員会とロータリー財団百周年記念委員会の委員長を務めたほか、選挙審査委員会と運営審査委員会を含むさまざまなロータリー委員会の委員を歴任。

1991年にロータリーに入会して以来、インドとナイジェリアでの全国予防接種日(NID)の活動、ベトナムでの小学校建設、ドミニカ共和国での浄水器設置など、さまざまな国際奉仕プロジェクトに参加。複数のスラブ語を学び、ウクライナの新会員の指導にあたったほか、ポーランドでは乳がん検診用のX線撮影装置と生検ユニットを病院に設置するロータリー財団補助金の調整を担当。ポーランドのクラクフ・ロータリークラブは記念冊子の中で、共産主義後のポーランドにおけるロータリーの復興を手助けた重要人物としてアーチック氏を挙げている。

現在は、人道的・教育的奉仕プロジェクトのために米国内のクラブ・地区がアルバニア、コソボ、ウクライナのロータリークラブとパートナーシップを結ぶよう援助している。

高等教育、コンサルティング、エンターテインメント業界における職歴を有し、ペンシルベニア州立インディアナ大学でリーダーシップ研究の博士号を取得。ロータリー財団をはじめ数多くの地元機関・国際機関から賞や表彰を受けている。



ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2830 地区
2024-25 年度 ガバナー

花 田 勝 彦
五所川原 RC

2008-09年度山崎淳一ガバナーが「地区ロータリアン必携」として地区内全ロータリアンに配布する冊子を発行して以来、歴代のガバナーが受け継いできた「地区要覧」を、今年度も発行することができ、まずは皆様に感謝申し上げます。

今年度の地区要覧は、ロータリアンの皆様にとって有用な情報を盛り込んだQRコード集を掲載いたしました(P20)。そして、長らく規定の整備が進んでいなかった地区資金規定と要綱を大幅に見直し、条項の整合性や文言の統一性を踏まえて、整理させていただきました。地区研修協議会において会長エレクトによる承認が得られることを条件に、この地区要覧に規定案として掲載していることをご承知いただきたいと存じます。

さて、私は、2024年1月7日から11日まで、アメリカフロリダ州オーランドで開催された国際協議会に参加いたしました。この国際協議会で、志を同じくする世界中の多くの友人と出会い、同じ時間を過ごしたことによって、ロータリーが大好きになって帰ってまいりました。ガバナーに就任するための燃えるようなエネルギーをいただけてきたと感じています。

ステファニー・A・アーチックRI会長は、2024-25年度のRIテーマとして、「ロータリーのマジック」を掲げられました。このマジックを生み出すのは、私たち一人一人のロータリアンの思いやりと信念に基づく行動です。

そして、アーチック会長が最優先課題としてあげられたのは、会員増強を図る行動計画を推し進めることです。会員増強については、地区当たり100名の増員かつ4つの新クラブの設立という数値目標を提示されています。行動計画(アクション・プラン)については、2019年から5年計画の最終年に当たります。「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」という4つの優先事項は、我々ロータリアンが進むべき方向性と位置付けています。これを具体的実現するための数値目標が、「3-Year Rolling Targets」です。これまで単年度で入力されていた「クラブセントラル」を3年間の継続性を持ったものとして各クラブが実践していくことが期待されています。その結果として、魅力ある(Simply Irresistible)クラブづくりを実現して、多くの会員増強に繋げていくというわけです。

第2の優先事項は、積極的平和を通じて分断された世界を癒やすことです。ここでは、おなじみの「四つのテスト」の実践のほか、ピースポール(平和の柱)プロジェクトを紹介し、ロータリー平和センターを通じて平和の構築を呼びかけています。

最後に継続性です。これはリーダーが前任者、後任者と協力することと、クラブが取り組んできたことや根付いてきたことに目を向けることです。

次年度の地区スローガンとして掲げた「個性輝くロータリー」は、RIテーマを踏まえて、ロータリアンも、ロータリアン以外の人、自分自身の個性を十分に発揮できるロータリーを目指すと同時に、他人の個性をも同じように重視する思いやりのある立ち振る舞いができるロータリーでありたいという思いから出た言葉です。

2830地区は小さな地区ですが、一人一人のロータリアン、ひとつひとつのクラブは、輝く個性を持っていると思います。素晴らしい体験を発信して魅力的なクラブづくりをしていきましょう。その担い手は、クラブの会長エレクトや幹事エレクトであり、次期地区リーダーは、個性輝く魅力的なクラブを作るための支援をしていきます。それがひいては多くの仲間を増やすことに繋がって

くでしょう。そして、こうした活動が継続性をもって次の年度に引き継がれることも重要になります。皆様のクラブにおいても、可能な限り継続性を意識していただければと思います。

そして、5つの重点項目は、

- ① ロータリーの行動計画(Action Plan)を理解し、推進しよう
- ② 参加し、交流し、行動することで、ロータリーを楽しもう
- ③ DEI+Belonging(帰属意識)を育もう
- ④ クラブでの体験を魅力的なものにしよう
- ⑤ 奉仕活動の継続性を意識しよう

です。先に述べたアーチックRI会長の重点事項をより具体的に実践することを目指しています。この中で、②の「参加し、交流し、行動することで、ロータリーを楽しもう」は、水野功RI理事エレクトが仰るロータリーの本質を言い表している言葉だと思っています。ロータリーを楽しむことを出発点として、それぞれの重点項目を実践していくことでいいのだと思います。

魅力的なクラブづくりのためには、クラブ会長、幹事の皆様の熱意とアイデアが重要です。他のクラブの奉仕活動も参考にしながら、自分のクラブだけでは十分な活動ができない場合には、合同例会や地区の組織や委員会を利用して、会員を楽しませる工夫をしていきましょう。楽しい場所に人は集まります。会員にとって居心地のいいクラブとすること、クラブでの経験を魅力的にすることで、沢山の仲間を増やすことに繋げていきたいと思っています。

そのために大切なことは、DEI(Diversity:多様性、Equity:公平性、Inclusion:インクルージョン)の推進です。今年度、地区にはじめてDEI推進委員会を設置しました。会員がクラブへの帰属意識を育むために、クラブのリーダーを中心にDEIを推進し、魅力的なクラブを作って行きましょう。地区ではそのお手伝いをするためのさまざまな方法を検討していきたいと思っています。

2026年7月1日までに地区内のロータリアンが1100名に達しなかった場合、隣接地区と合併することに同意するというRI理事会の決議を受けて、緊急事態宣言を発したところではありますが、小手先の会員増強に走ることなく、まずは魅力的なクラブづくりをして、ロータリアン一人一人の個性を輝かせ、クラブの個性を輝かせることで仲間を増やしていくことを目指したいと思っています。

そして年度が終わるときには、次のチームに魅力を繋げられるように、一緒に頑張っていきたいと思っています。

プロフィール

2024-25年度
国際ロータリー第2830地区ガバナー

花田 勝彦

氏名 はなだ かつひこ
花田 勝彦

クラブ名 五所川原ロータリークラブ

職業 弁護士法人さくら総合法律事務所 代表弁護士

職業分類 弁護士

出身地 青森県北津軽郡鶴田町

経歴 1968年8月28日 青森県弘前市生まれ(55歳)

1987年3月 青森県立弘前高等学校 卒業

1991年3月 金沢大学法学部 卒業

1998年3月 最高裁判所司法研修所 終了(第50期)

2002年1月 五所川原ひまわり基金法律事務所開設

2022年4月 弁護士法人さくら総合法律事務所設立

主な職務 一般民事、家事、刑事事件全般を取り扱う。

NPO法人青森県消費者協会理事長

ロータリー歴

2004年1月7日 五所川原ロータリークラブ 入会

2008-09年 クラブ幹事

2011-12年 クラブ会長

2015-20年 地区社会奉仕・職業奉仕委員長

2020-21年 地区幹事

褒章

メジャードナー レベル1

ポールハリス・ソサエティ

ポリオプラス・ソサエティ

米山功労者(マルチプル3回目)

趣味 ワイン 温泉巡り audible



ご挨拶

国際ロータリー第 2830 地区
2024-25 年度 ガバナーエレクト

米 谷 恵 司

青森モーニング RC

2025～2026年度RI第2830地区ガバナー拝命致します、青森モーニングロータリークラブ所属の米谷恵司です。

2005年1月に入会后、クラブ幹事、会長、そして2015～2016年度鈴木唯司ガバナーのもと地区幹事長を経験させて頂きました。その後、沼田 廣年度～本年度まで地区RI委員長を5年間務めて参りました。そのような私が2025年26年度ガバナーを努めさせて頂く事になりました。何せ浅学菲才の為、粉骨砕身の想いで精一杯努めさせて頂く所存ではございますが、Nothing BMTですので(BMTとは能無し、金なし、時間なしの三ない人間)謙虚さと向上心をもって務めて参る所存でございます。

さて、地区に発せられた緊急事態宣言、2026年7月1日時点で会員数が1,100名未満の場合は近隣地区と合併しなければなりません。それは我が地区だけの問題ではなく近隣の2540地区(秋田県)も同様の状況かと思えます。よってこの2地区で協力のもと会員増強に力を注ぐことが喫緊の課題です。その為には会員増強の必要性を全会員に理解して頂く事が必要不可欠になって参ります。そして地区としてクラブの支援体制を強化すると共に抜本の変革をして「**変革し変化を感じられる地区・ロータリーにしたい**」と考えております。地区が素晴らしいロータリーファミリーになるよう尽力して参りますので何卒皆様方の特段のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に…恩愛『与えた恩は水に流し、受けた恩は石に刻む』

プロフィール

2024-25 年度
国際ロータリー第 2830 地区ガバナーエレクト

米 谷 恵 司

氏 名 米谷 恵司
職 業 (株)カードック米谷オート 代表取締役
職業分類 自動車販売・整備
経 歴 1960年10月29日(昭和35年)生まれ
1979年3月 青森県立青森東高等学校普通科卒業
1984年3月 千葉工業大学機械工学科卒業

ロータリー歴

2005年1月 青森モーニングロータリークラブ入会
2007-08年度 クラブ幹事
2011-12年度 クラブ会長
2015-16年度 地区幹事長

2017-18年度 中グループガバナー補佐
2019-20年度～ 地区RI委員長

その他

青森県自動車整備青森協議会 副会長
(公社)青森法人会 副会長
青森交通安全協会 副会長
東北合気道連盟 副会長
青森県合気道連盟 会長(合気道六段位)
青森地区 保護司

褒 章

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2回目)
米山功労者(1回目)

2024-25年度 ガバナー補佐紹介

東第1グループ

ガバナー補佐



蛭沢 公洋
東北 RC

2024-25年度の東第1グループのガバナー補佐を拝命しました東北ロータリークラブ所属の蛭沢公洋と申します。私はロータリークラブに入会して今年で9年目になりますが、クラブ内の活動ばかりで国際・地区ロータリー活動の理解が不足しており、その間発生したコロナウィルスの蔓延による活動自粛があったため歴代のガバナー補佐より力不足、実力不足を強く実感しております。この様な重責が務まるのか思い悩みながらお受けいたしました。本業の建設業の社長としての経験と各クラブの先輩ロータリアンの皆様からのご指導ご鞭撻を頂きながら努めてまいりたいと思います。

さて、ステファニーRI会長の年度テーマ「ロータリーのマジック」のもと、花田ガバナーは「個性輝くロータリー」を第2830地区のスローガンとして掲げられました。これは、この数年間ロータリークラブで重視してきたD・E・I (Diversity, Equity, Inclusion 多様性、公平さ、包摂的)を土台として実現されるものだと思います。ガバナー補佐の仕事は、ガバナーの意向を各クラブにお伝えし、クラブの課題を地区へ報告し課題解決に向けて様々な地区委員と連携してクラブの助けとなるように橋渡しをすることだと思いますが、そこで今年度の年度テーマと地区スローガンを実現する為に、

- ①会員増強 ②クラブの強化 ③地域全体の活性化

を特に重点的に取り組んで参ります。社会奉仕活動は各クラブの特色が良くわかる事業であり、先に挙げた三つの課題に関わる活動ですので積極的に関わっていきたいと思います。

以上が花田ガバナーの指導の下、地区内のクラブの皆様とともに活動する内容ですが、今年度1年間どうぞよろしくお願い致します

東第2グループ

ガバナー補佐



佐々木 紀仁
十和田東 RC

2024-25年度 東第2グループガバナー補佐を務めさせていただきます、十和田東ロータリークラブの佐々木紀仁です。

昨今、ロータリーでは活性化を目的に各クラブを中心に計画の立案・実行・検証といったものがより求められているように感じます。そのため私も指針の一つでもあるDEIなどを念頭にクラブの健全な運営の一助となる行動を意識し

- ①ガバナー補佐としてのクラブへの訪問とIMの開催
②My Rotaryの積極的な活用推進の呼びかけ
③上記に伴いクラブの健康チェックの活用と3年間の戦略目標の設定のお願い
④ロータリーの活性を目指した会員拡大の呼びかけ(目標：各クラブ平均純増2名)
⑤地区大会や世界大会への参加の呼びかけ

といったことを積極的に行い、ステファニーRI会長のテーマ「ロータリーのマジック」と花田ガバナーのスローガン「個性輝くロータリー」のもと、それぞれのロータリアンが互いの個性を認め合い、魅力あるロータリークラブの育成とその活動が素晴らしいマジックを発揮できるよう地区とクラブの懸け橋となるべく責務を果たしていきたいと考えております。

若輩者ではありますが、皆様のご理解とご協力を頂きながら、私自身も共に輝く個性を発揮できるよう努力して参りますので一年間よろしくお願い致します。

西第1グループ

ガバナー補佐



小田 桐 浩

五所川原イヴニング RC

ガバナー補佐としての活動計画を述べさせていただきます。

1. 西第1グループとしては、初めての会長幹事会議の開催をしたいと考えております。内容については、クラブの運営、奉仕活動、会員増強等の問題点について忌憚のない意見を出し合い、各クラブの活性化につながればと思います。

2. My Rotaryの活用促進をしていきたいと思っております。私は、インターネット等のパソコン操作は非常に苦手で、どうしたものかと考えておりましたが、実際パソコンを触ってみると、そうでもないものでした。パソコンの詳しい人を横に置いてやってみたら、なんとかなりました。

My Rotaryの中には、「クラブセントラル」「クラブの健康チェック」「戦略計画立案ガイド」等がありますので、各クラブの記入状況をチェックし、不明な点があれば相談しながら進めたいと考えております。

3. IM(インターシティー ミーティング)について。

ガバナー補佐最大の仕事は、IMの実施と聞いておりました。ある先輩は、「IMの事ばかり考えていればいい」。またある人は、「IMであいさつをするだけでいい」とまで言っていました。クラブ内でIMの実行委員会を作り協議したところ、ガバナー補佐の仕事が結構あることがわかり、先輩方の言っていたことは嘘かよと今更ながら思う次第です。

しかしながら、実行委員の協力もありIMの開催日時は11月16日(土)、テーマは「SDGs再生可能エネルギーについて」と決まり、それに向けて着々と準備を進めている状況です。

4. その他としまして、クラブ間の親睦を考えておりますが、これが一番大事なのではないでしょうか。西第1グループ全体での合同例会、クラブ間の合同例会、卓話の輪番等をやれば楽しい例会になるのではないのでしょうか。

以上、パソコンが苦手の小田桐が考えた活動計画です。

西第2グループ

ガバナー補佐



成田 学

弘前アップル RC

西第2グループのガバナー補佐を務めることになりました、弘前アップルロータリークラブの成田 学です。

西第2グループは8クラブあります。弘前、弘前東、板柳、黒石、弘前西、大鯉、平賀・尾上、弘前アップルです。これら8クラブの特徴や個性をいかして花田ガバナーの元で2024-25年度RIテーマ『ロータリーのマジック』 第2830地区の2024-25年度 スローガン『個性輝くロータリー』を掲げ、実行することで個々のロータリー活動を充実させ社会の発展や世界平和の実現へ向かって努力していく事が大事と考え、西第2グループの皆様といっしょにロータリーを楽しく行動していきたいと考えています。

特に地区スローガンの『個性輝くロータリー』については、DEI(ダイバーシティ、多様性・エクイティ、公共性・インクルージョン、包括性)一人ひとりの個性を尊重し、公共性を追求し、組織として社会として活かしあう事を目標に行動し、発展し続けることを追求していきたいと思っております。担当8クラブには定期的に訪問し情報共有、問題把握、相互交流、友好を深めてますますロータリーの事が好きになるようにそしてロータリーを好きな人をもっともっと増やしてロータリーを広め、ますます活性化することに努めていきます。そしてみんなの力で小さくてもいいから『ロータリーのマジック』を起こしましょう。

中グループ

ガバナー補佐



蝦名 正治
青森北東 RC

この度、国際ロータリー第 2830 地区中グループガバナー補佐を仰せつかりました青森北東ロータリークラブの蝦名正治と申します。

2024 - 25 年度 RI ステファニー A. アーチック会長のテーマは「ロータリーのマジック」そして、2830 地区花田ガバナーから提唱されたスローガンは「個性輝くロータリー」です。お二人のメッセージを見るとロータリーに対するそれぞれの熱い思いがその中に込められております。その思いをグループ各クラブに伝え共有できるかがガバナー補佐に与えられた使命だと感じております。不安もありますが、まずは花田ガバナーが掲げた重点項目をよく理解することからスタートしていきたいと思います。

また、RI 理事会に於いて第 2830 地区に出された「緊急事態宣言」2026 年 7 月 1 日までに地区会員数が 1100 名に達しなかった場合、隣接地区との合併に同意する決議がなされており会員増強は最大の急務となりました。

まずは中グループ各クラブのロータリアンの皆様からアドバイスやご意見を頂きながら何とか 1 年間乗り切れるよう頑張る所存ですので、何卒宜しくご協力の程お願い申し上げます。

南グループ

ガバナー補佐



島浦 理
八戸西 RC

2024-25年度の南グループガバナー補佐を拝命しました八戸西ロータリークラブの島浦理です。

ガバナー補佐はクラブと地区をつなぐ役割ということで、私にとっては大役ですがこのような機会を与えられたことに感謝し、楽しみながら職務を全うしたいと考えています。

RIテーマ「ロータリーのマジック」を受けて第2830地区のスローガンは「個性輝くロータリー」となっています。ガバナー補佐としての活動計画は以下のとおりです。

1. 南グループ各クラブにメーキャップを行い各クラブの雰囲気を感じるとともに各クラブの特徴や問題点をガバナーに情報提供を行います。2024年6月までに南グループ各クラブの1回目のメーキャップを完了させ、年度が終了するまでに4回はメーキャップに伺いますのでよろしくお願い致します。
2. ガバナー公式訪問についてはガバナーの意向を会長幹事に伝え円滑に進められるよう図っていきたいと思います。クラブ協議会についてはガバナー補佐に進行をお任せとなっておりますが、各クラブの意思を尊重し会長幹事との打合せの上、進行していきたいと思います。
3. 2024年7月25日(休)に南グループ合同例会、2025年2月22日(出)に南グループIMを行います。南グループの9クラブ会員の顔が見える例会、ロータリーについて学ぶ機会を設けるとともに親睦の場として実り多い場にしたいと思います。ガバナーも出席予定となっておりますので多数の参加をお願いします。

ガバナー補佐の役割は花田ガバナーを支え地区の目標を達成することですが、私の所属する八戸西ロータリークラブは初めての幹事クラブ、そして私はクラブ初のガバナー補佐、1年間を通して各クラブから学ぶことばかりになるでしょう。各クラブの会員がロータリーに入って楽しかったと思えるような1年間にしたいと思いますので、微力ですがよろしくお願い致します。



2024-25 年度 委員会活動計画

会員増強部門

クラブ拡大・会員増強委員会



委員長

吉田 賢治

八戸南 RC

RI会長テーマ「The Magic of Rotary ロータリーのマジック」が発表され花田ガバナーより地区スローガン「個性輝くロータリー」が発表されました。ロータリアンもそうでない人も、その人の個性を發揮して人生を輝かしい物にすることができ、一人一人が自らの個性を發揮し他者の個性を尊重する気持ちをもってロータリー活動を実践していけば『きっと仲間が増え』、その先には地域社会の発展や世界平和の実現につながっていくと提唱されました。クラブ拡大・会員増強について、ただ数にだけ固執しては続かなくなります。ロータリアンとして他者への思いやりの考え方を身に着け、活動・行動を通じてロータリーの素晴らしい世界を一緒に体感していく仲間を増やしていきましょう。

会員増強委員会には各グループから出向していただいた委員がおります。各グループのガバナー補佐、会長・幹事の皆さんと情報・アイデアを共有しながら会員増強に努めてまいります。

SNSが発達したおかげで、以前より多くの方が困っている現状を知る機会が増えました。「何とかしてあげたい・微力でも力を貸したい・私でも何か出来る事はないのかな」と感じている潜在的奉仕願望を持つ人は増えていると思います。青森RCの能登半島地震の義援金募金活動に参加させていただいた際も、子供から高齢な方まで実に多くの方から募金をしていただき本当に頭が下がる思いでした。年齢・性別に関係なく奉仕の心を持った人にロータリーをもっと知ってもらい、入会してもらい、生涯の友と出会い、ロータリーを楽しもうではありませんか。

5月 クラブ拡大・会員増強委員会

6月 女性会員の集い

7月～委員長・委員にてクラブ訪問情報交換・以後約3カ月ごとに進捗状況確認訪問

10月 公共イメージ向上委員会と共催でイベント検討

※ガバナー公式訪問時のクラブ動向をガバナー補佐よりグループ委員に情報共有。工藤PG、築館PG

のもと、各クラブ会長・幹事をはじめ会員の皆様のやる気本気のご協力を賜りながら努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

公共イメージ向上部門

公共イメージ向上委員会



委員長

工藤 孝子

弘前東 RC

ロータリーの公共イメージと認知度の向上を図る。

ロータリークラブは、そしてロータリアンは、地域にとってそして世界にとって良いことを、行なっていると言う事実を、特にロータリー関係以外の方々に広く認知して頂き良い印象を持っていただく事です。

1. 地区SNSにより活動を内外に発信する。

☆定期的なSNSの発信

地区各委員会との情報共有

クラブの奉仕活動の情報共有

2. ポリオデー開催の推進

(ポリオ委員会、会員増強、財団、国際奉仕青少年奉仕、米山、DEI、公共イメージ)

☆世界ポリオデー(10月)

トレインジャックを津軽鉄道で企画する。(赤や黄のエンドpolioナウのシャツを着て)ポリオ委員会と相談してインパクトある写真の撮り方を研究。

公共イメージ、ポリオ委員会を中心に各委員会で分担してインパクトあるプロジェクトを計画する。

同日、エルムの街で、ポリオ啓蒙活動を行う。

(例えば、音楽、ピラ配り、ワクチン投与の写真、出前授業の映像、マーチングバンド等あらゆる事を組み合わせる事が出来るか検討)

3. 世界女性デー実施に向けて発信を支援する。

ロータリーデーに向けて発信を支援する。

4. マイロータリー登録の推進

5. 報道機関との交流懇談会を企画し実施する。

6. ビジュアルアイデンティティの強化

奉仕活動をする時にお揃いのTシャツを着たり幟を立てたりする事は私達の活動を世の中に知って頂き活動に共感する人々を仲間にする機会を増やします。

7. 広告の検討

*身近な広報の実践にご協力を

いつでも始められる広報活動の実践を会員の皆様にご協力をお願い申し上げます。

- ♣会社の待合、応接室等にロータリーの友や関連書籍を置いていただく。
- ★ロータリーバッジを可能な限りつけていただく。

社会奉仕・職業奉仕部門

社会奉仕・職業奉仕委員会



委員長
岩岡 隆雄
八戸東 RC

昨年に引き続き、委員長を拝命いたします、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年度はクラブ例会卓話もお招き頂き職業奉仕と社会奉仕の関係について考え方を報告させていただきました。今年度もクラブのプログラムに卓話を計画していただければと思います。

2025年1月25日土曜日 職業奉仕フォーラムを地区事業として計画しております。詳細が決まり次第、ご案内させていただきます。

第9回目となる、青森大学と教育連携協定による、じょっぱり経済学も開催します。

2025年4月より開講しますので、12月には講師募集のご案内を予定しております。

昨年度事業も2024年7月24日まで青森大学にて毎週水曜日14時40分より開講しており、受講されたロータリアンには、受講証明(メイクアップカード)を発行しております。

これは大学の学生のみならず、ケーブルテレビでの配信もあり一般の方も聴講する事が出来ます。職業奉仕を経営者みずから伝える事が出来るプログラムです。

この後、南部版経済学の模索を進めております。地域に人材育成機関があり、その土地で育て雇用が生まれる環境づくりにロータリーの職業奉仕実践があると思います。

また、10月にはポリオ月間もありポリオ撲滅募金活動を推進します。ご協力をお願いします。

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会



委員長
佐藤 健一
青森 RC

1. 活動方針

- ①財団活動に関するPR資料を作成し、財団活動に悩んでいるクラブを訪問し、財団の役割、必要性の理解を増進し、寄金実績を上げる
- ②多くのクラブにおいて地区補助金事業を実施する
- ③地区においてグローバル補助金による事業を実施する
- ④クラブにおいてグローバル補助金事業に挑戦する

2. 具体的行動

- ①地区補助金・グローバル補助金によるPR資料を作成する
- ②クラブにおいて、補助金事業実施と寄金推進のPRを図る
- ③各クラブ担当者に対する財団セミナー、補助金管理セミナーを開催する(7月、12月予定)
- ④実施事業に関するメディア、SNSの活用を促進する

3. 小委員会活動

各小委員会はガバナー補佐と連携して各事業の推進を図る

- ①地区補助金委員会
- ②グローバル補助金委員会
- ③資金推進委員会
- ④平和フェロウシップ・奨学金・学友委員会
- ⑤ポリオ対策委員会

ロータリー財団部門

地区補助金委員会



委員長
西尾 和樹
八戸南 RC

2024-25年度の地区補助金委員会委員長を務めさ



させていただきます八戸南RCの西尾です。地区補助金の活用、管理、運営にご協力をお願い申し上げます。

地区補助金は、地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援するものです。地区やクラブの幅広いプロジェクトや活動に活用することができます。

- ・人道的プロジェクト(奉仕活動を行うための現地への渡航や災害復興活動など)
- ・奨学金(教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なし)
- ・青少年プログラム(ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム、ローターアクト、インターアクト)
- ・専門職業をもつ人びとから成る職業研修チームの派遣(現地の人びとに職業研修を行うチーム、または現地で職業スキルを学ぶチーム)

クラブが地区に直接申請することで、さまざまな奉仕プロジェクトに地区補助金を柔軟に活用することができます。

地区補助金委員会は、すべての補助金プロジェクトが迅速に実施されるよう、クラブからの申請を管理、確認し、資金分配方針に基づき、資金を支給するプロジェクトを決めます。

年度開始前にクラブから地区補助金の申請(2024-25新プロジェクト)を受け付け、プロジェクトの審査、決定を行い、クラブのプロジェクトを東京事務所へ一括で申請します。すべてのプロジェクトが承認された後に各クラブへ補助金を送金し、プロジェクト実施後には、報告書の提出を行います。

申請から実施、報告までが年度をまたぐ事業ですので、会員みなさんのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

地区補助金を活用することで、各クラブでの奉仕活動の活性化はもとより、プロジェクトを地区内外、ロータリアン以外にも広く発信、紹介することにより会員増強、公共イメージの向上につなげていけるよう活動してまいります。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

ロータリー財団部門

グローバル補助金委員会



委員長
須藤 朗
野辺地 RC

グローバル補助金は、複数国のロータリークラブ

又は地区による共同事業に対して授与される大規模で測定可能な成果を生む持続可能な活動が対象の補助金です。

当委員会の活動計画事項としては、

- A) 地区補助金に比べてグローバル補助金は認知度が低く感じられるので、認知度アップの施策を考える。
- B) 当地区では、援助国側でのケースがほとんどなので実施国側のプロジェクト提案をよく吟味してプロジェクトを選定していきたい。
- C) 他地区ではクラブ単位でグローバル補助金を申請して海外での奉仕活動を行っている地区もありますが、当地区では殆どが地区単位での申請、実施となっています。よって当委員会としては、各ロータリークラブがグローバル補助金を申請することへの取り組みを支援できるようにしていきたい。
- D) R財団奉仕事業の公共イメージを向上させる事に取り組みたいです。
- E) 地区財団活動資金(DDF)は、地区全体の資金であるので運用についての規定があるべきと考えます。例として「地区財団活動資金(DDF)運用規定」ほかに「グローバル補助金のためのDDF申請書」等も準備が必要ではないのかと考えています。

ロータリー財団部門

資金推進委員会



委員長
櫛引 大樹
青森 RC

大前提として、寄付ゼロクラブが無いように活動してまいります。

各クラブからの寄付により奉仕活動が行えるという基本原則の考え方を会員の皆様に周知してまいります。

各クラブの寄付の状況を把握しながらタイムリーに寄付のお願いをするように取り組んでいきたいと思っております。

ロータリーカードの普及率を上げていきたいと思っております。

ロータリーカードを利用することで世界に貢献できるということを広めていき、少しでも利用者を増や

していきたいと思ます。

会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

ロータリー財団部門

平和フェローシップ・奨学金・学友委員会



委員長
竹島 直樹
十和田東 RC

平和フェローシップについては、ハードルが高いため2830地区では応募者が少ないですが、2002年に創設されて以来、ロータリー平和センターは1700人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在、140カ国以上で活躍し、政府、NGO、教育、研究機関、平和維持および法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮しています。今年度も2830地区から世界で活躍できる平和フェローシップ奨学生、グローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生を募集いたします。また、学友会名簿の充実や交流機会を設けることを推進します。

ロータリー財団部門

ポリオプラス委員会



委員長
成田 俊介
弘前西 RC

2024年4月上旬現在パキスタンで2例、アフガニスタンで2例の発症報告がありますが、確実に減少傾向にありポリオ根絶に向けて前年度同様に活動を継続します。

2024年10月12日(土)地区大会の朝に五所川原市内で世界ポリオデーのウォークラリーを開催する予定です。地区大会前に参加者を募りますので宜しくおねがいします。

10月24日の世界ポリオデーの前後に公共イメージ委員会が津軽鉄道のトレインジャックなどを開催する予定ですので、世界ポリオデーのイベントにポリオプラス委員会は協力する予定です。

2024年-25年度も昨年同様にパキスタンのカラチでのポリオワクチン接種事業を行います。予定では11月23日(土)羽田空港出発で11月27日(水)帰国予定です。地区研修協議会の前には詳細な案内を出す予定です。

地区では「じょっぱり看護の人 花田ミキ」の映画上映を計画しているとのことでポリオプラス委員会も協力していきます。

ポリオウィルス感染症が日本で撲滅されてから数十年経過しており、患者さんも高齢化しています。若い人へのポリオウィルス感染症の理解を進めるためにsnsでの発信を始める予定です。

国際奉仕・青少年奉仕部門

国際奉仕委員会



委員長
柴田 文彦
むつ中央 RC

各委員会での活動の多くは国際的なものが関わっています。国際奉仕委員会では、各委員会での国際的活動に参加することでの協力と必要とされるサポートを行っていきます。

各委員会、各クラブも同様に国際的な奉仕活動を行う際には、“何か手助けになれば”と思いますので一報頂けますと幸いです。

具体的には、インターアクト委員会でのアクトの翼事業の協力、国際大会推進委員会での国際大会参画、ポリオ根絶運動についてはポリオプラス委員会の活動に限らず協力又はサポートさせていただきます。

ポリオワクチン接種活動

(パキスタン カラチ)11月23日～

国際大会(カナダ カルガリー)6月21日～

アクトの翼(台湾宜蘭県羅東鎮)12月25日～



国際奉仕・青少年奉仕部門

青少年交換委員会



委員長
岡山 信広
六ヶ所中央 RC

東第一グループ・六ヶ所RCの岡山です。
今年度が3期目、最後の地区委員長年度になりま
のでよろしくお願い致します。

2023-24年度は、青森RCをスポンサー・ホスト
クラブとし以下の2名の学生の交換を実施しました。
派遣学生：柴田怜音くん・松風塾高校3年生(2023
年8月出国)
受入学生：Mikai Carlsonくん・アメリカ・ネバダ
州(D5290)18歳(2023年8月出国)

柴田くんは2024年6月の帰国を予定しており、現
在も充実した留学をしている様子です。

しかしながら、Mikaiくんは持病の気管支系の疾
患が留学中に重度に悪化し健全なRYEが実施でき
ないと判断し、2024年2月19日に私の判断で早期帰
国(強制)することしました。本件については、RYE
の正式な手順を踏みながらも発生したことを申し添
えさせていただきます。

当該年度のRYEでは築館パストガバナー、前年度
地区役員、とりわけ青森RCの皆さまには大変なご
苦労とご協力を頂きましたことを感謝申し上げます。

今年度は、派遣学生はおりませんが、One Way
で台湾から1名の受入学生を予定しており、2022-
23年度に派遣した橋本明依さんのスポンサークラブ
の六ヶ所RCにホストを頂くことでご了解を頂いて
おります。

加えて、一般社団法人 国際ロータリー日本青少
年交換多地区合同機構(RIJYEM)主催のRIJYEM研
究会青森会議を2025年6月7日(土)、8日(日)にリンク
ステーションホール青森、ホテル青森を会場に開催
する事となりました。

日本全国のガバナー、青少年奉仕部門関係ロータ
リアン、派遣予定学生、受入学生、ROTEXが約350
人集結します。彼らを暖かくお迎えするため、RYE
ご興味がある方は是非にご参加を頂ければ有り難く
存じます。
RYE事業(長期)は、1年間の長期にわたる高校生年

代の青少年を交換する、他の奉仕団体には無い国際
ロータリー唯一無二の活動です。参加すれば貴重な
経験を出来ると思いますのでご興味のある方は年度
の途中でも構わないのでご参加を頂ければ有り難く
存じます。

国際奉仕・青少年奉仕部門

ローターアクト委員会



委員長
竹内 知弘
弘前西 RC

2024-25年度ローターアクト委員長を拝命いたし
ました弘前西ロータリークラブの竹内です。

まず、今年度のやりたいこと(願望・目標)を列記
していきたいと思えます。

1. 年次大会の開催
2. ローターアクトによるロータリー地区補助金の活用
3. ポリオ活動
4. RYLAへの参加
5. RLIへの参加

ローターアクト独自の活動のみならず、ロータリ
アンとの交流も考えての活動方針でございます。

数人のローターアクターに「なんとか」お会いで
きましたが、彼らの中には、活動はしたいが何をど
うやってしたらよいか分からない。といった状態の
方もいらっしゃいました。ロータリーイベントに呼
んで一緒に活動ができれば、お互いに楽しいと思
います。

↓以下、お願いでございます。↓

さて、これらの活動の基本になるものが例会だ
と思うのですが、コロナ過のこともあり、ローターア
クトの例会および活動が強制的に縮小となり、存続
自体が危機的状態となっております。

是非ロータリアンの皆様には、ローターアクター
に手を差し伸べて欲しいです。傍らで並走し、寄り
添って欲しいと考えております。

【いつぞやの規定審議会】によって、ローターア
クトを取り巻く環境はインパクトがあります。

ロータリーとほぼ同じ立場になったり、年齢制限
が撤廃されたり、間にコロナだったり、人頭分担当
金だったりなど。

このような現状を考えると、ローターアクトへのサポートは必須と考えます。スポンサークラブのみならず、多くのロータリアンのサポートがキーになると考えております。じゃなきゃ若い人が、がっかりしちゃうかも。今一度、ローターアクトクラブを設立したときの気持ちをもって、ご協力を伏してお願ひ申し上げます。

最後に今年度の私の好きな言葉で締めたいと思います。

↑個性輝くロータリー↑

↑Simply irresistible↑

国際奉仕・青少年奉仕部門

インターアクト委員会



委員長
松山 隆志
野辺地 RC

例年、インターアクト委員会の活動の大きな柱は①インターアクト年次大会を開催する ②インターアクトの翼を実施する ③ガバナー表彰の実施 の3つです。

現在地区内には22のインターアクトクラブが組織されています。ここ数年コロナ禍の影響により各クラブとも思い通りの活動ができない状態が続いていましたが、ようやく本来の活発な奉仕活動に戻りつつあるように思えますので地区委員会としても積極的に支援して参ります。

①インターアクト年次大会

地区内22校に組織されたインターアクトクラブのメンバーが一堂に会し、その活動についての情報を報告し合うとともに、寝食も含め共働することによって友情と親睦を深めることを目的とします。例年、ホスト校及び提唱クラブの協力により特色のある大会を開催しています。開催時期、開催方法、大会内容などを慎重に検討した上で「開催」に向けて行動したいと思います。

②インターアクトの翼

高校の冬休み期間を使いインターアクターを海外へ派遣。現地の家庭にホームステイしながら短期間ではありますが異郷での生活を体験、現地高校生との交流によって、その後の人生への糧としてもらう大変有意義な企画です。ここ数年は、台湾の現地ロー

タリークラブの多大なる協力により実現、温かく迎入れて頂き、大きな成果をあげています。出発前の不安と期待でのおどおどしていた参加者が帰りの飛行機の中では堂々とした顔つきになっているのを目の当たりにすると、是非継続していきたいと思える事業です。

関係方面と広く協議の上、継続実施する方向で調整を重ねていきたいと思ひます。

③ガバナー表彰の実施

インターアクターの在学中の積極的な奉仕活動に対して卒業時に顕彰を行います。

今年度は前年度に引き続き各提唱クラブに対し「各校インターアクトクラブへの指導をより推進すること」をお願いしたいと思います。各クラブ毎、それぞれの方法でインターアクトクラブへの関与を進めているとは思いますが、コロナ禍においては奉仕活動等の容、実施方法等について方向性を見いだせずにいるインターアクトクラブも多かったことと推察します。「さらに一歩踏み込んだ関与」によりその一助になれば、より効果的な活動を実行することが出来るものと考えます。各提唱クラブの方々は積極的に学校へ足を運び、高校生達と「話」を試みませんか。

以上、今年度は、さらなる飛躍の年度となるよう進めていきたいと思ひます。

すべてはインターアクターのために…。

国際奉仕・青少年奉仕部門

RYLA委員会



委員長
三浦 基
青森 RC

RYLAとはロータリー・ユース・リーダーシップ・アワードの略称で青少年に学ぶ機会・集う機会・話し合う機会を提供し、既存のリーダー論を学ぶのではなく、講師の実体験をもとにした講義を受けて頂く事で、リーダーシップとは何か、リーダーとはどのような人間か、リーダーに求められるものは何かを考えるきっかけをロータリーが提供するプログラムです。

当地区は対象を概ね18歳～30歳に設定しており学生・社会人は問いません。青少年であればどなたでもご参加いただけます。(ただし地区内RCからの

推薦は必要)

今年度は2025年6月14日～15日の日程で開催予定ですので、皆様のクラブからたくさんの青少年のご推薦をお待ちしております。

米山記念奨学部門

米山記念奨学委員会



委員長
佐藤 一尚
青森 RC

米山記念奨学事業は、将来母国と日本との「懸け橋」となって国際社会で活躍する留学生を奨学することを目的としています。米山奨学生となり、勉学に専念しながらロータリー活動を行い、ロータリー運動の良き理解者となり国際平和の創造と維持に貢献する人になることが期待されます。2024-25年度では、継続奨学生と新規奨学生合わせ11名の奨学生をお世話させていただきます。当委員会、そして奨学生をお世話頂くクラブ・カウンセラーはもちろんのこと、第2830地区各クラブの皆様にもご理解とご協力を頂き、この素晴らしい事業を推進していきます。

1. 寄付金について

寄付金は、普通寄付と特別寄付があります。クラブ会費から寄付される普通寄付は一人3千円以上、例会時に任意で寄付される特別寄付は一人2万円以上を目標として推進します。皆様の温かい寄付が、米山奨学生の成長の糧になりますし、更なる米山奨学生の受け入れに繋がりますので、宜しくお願い致します。

2. 米山奨学生との交流

世話クラブでの例会や行事参加を促し、カウンセラーや会員が仲良くコミュニケーションを図れるように配慮します。他クラブには、卓話訪問を通じて交流を図れるようにします。また、地区行事にも参加を促し、交流の輪を広げたいと考えております。

3. 優秀な人材の選考

指定校より優秀な留学生を推薦して頂きます。書類選考・面接選考を通じて、本事業に合致する素晴らしい人材を選考していきます。

4. 主な行事(詳細は改めてご案内します。)

9月 米山フォーラム
12月 面接選考会
3月 修了式

4月 オリエンテーション

5月 卓話講習会

DEI推進部門

DEI推進委員会



委員長
源新 育子
八戸北 RC

皆様ご承知の通り、この委員会は花田年度が初めて地区に設置した委員会です。国際ロータリー理事会は、2021年にロータリーの中核的価値観を反映した新たなDEIの行動規範を採択しました。そのことにより、私たちはロータリーのあらゆる活動において、持続可能でより良い変化を生むために、多様性を重んじ、人種や性別などあらゆる背景を持つ幅広い人々による貢献を大切にし、さらに自分が大切にされていると感じる帰属意識を持てるような文化を育む事が求められています。しかしながらDEI諮問委員会などの意見の中には、日本のロータリーでは「多様性」が、いかに重要であるかに気づいていない会員が多いのではないかという声が聞かれます。特にジェンダーギャップ指数については146ヶ国中125位と先進国では最下位です。ロータリーの中核的価値観の中には、すでに「多様性」が採択されており、ロータリーのグローバルな変化で、これらの活動と連動できていなかった結果と考えられます。当地区においても会員増強は急務ですが、ただ会員を増やすためだけに簡単なオプションに頼るのではなく、一步一步DEIの理解と実践に努めることが必須であると考えます。そのためにも地区内のDEIについての理解の状況を把握し、あらゆるリソースや情報の提供、もしくは研修などの計画を講じていきたいと考えております。地区全体が手を取り合い協力しながら行動する事、その積み重ねが結果として、ロータリーの「質と量」に繋がって来るのではなかとを考えます。

実施目標

- ①現状把握のために「DEI」に関するアンケートを全クラブに取り、必要に応じて適切な対応をする。
- ②映画「じよっぱり」の上映・(ポリオプラス委員会と協力)
- ③2025年3月8日・「国際女性デー」の開催(公共イメージと協力)
- ④2025年6月14日・「女性会員の集い」(会員増強委)

員会と協力)

ロータリーリーダーシップ研究会

R L I 委員会



委員長
三浦 真介
弘前 RC

国際ロータリー(RI)の用語や記述を和訳することの難しさや不完全さはよく耳にするところであり、そもそも英語圏と日本語圏の文化背景や行動様式自体が異なる中で、私たち日本語話者はRIが発する言語やメッセージを理解しようと努めること自体が言わば研修そのものとなっている部分もあり、だからこそ往々にしてロータリーリーダーたる私たち自身が主体性を失い、いつまでも教えを乞うという姿勢に終始してしまいがちなところもあると思います。

ならば英語圏のロータリアンは全てを理解しているのかといえば、そんなこともないはずで、時流や価値観の変化とともにロータリーの規定や語法や重点項目も常にバージョンアップされ、世界中のロータリアンに今も問いを与え続けているのです。

そしてまさにRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)こそ、そうした不断の問いに共に立ち向かい、知識の授受よりも寧ろ話し合いを重視するという極めて日本文化的な手法も取り入れながら解答を見出していく方法なのです。

だからこそRLIの進行役となるファシリテーター(促す人)の役目は重要かつ難しく、まずは何よりもその人材の拡充と研修が必要であるため、年度の前半からは、まだ決して十分とは言えないRLIそのものの周知徹底とファシリテーターの募集及び研修に努め、年度の後半に次期リーダー等を対象としたRLI研修を開催したい所存です。

具体的な活動計画は以下の通りとなります。

1. クラブ例会卓話等を活用してのRLIの説明と周知(年度前半～)
2. 活力あるファシリテーターの募集と研修(年度前半～)
3. 次期リーダー等を対象としたRLI研修の開催(年度後半に1泊2日の集中研修)

なお中長期的には研修対象の特色ある細分化や開催会場の分散等も視野に入れ、より多くの参加者と研修内容の充実をもとに、各クラブの活性化へと繋げていく方策を見出す必要もあろうかと思えます。

ロータリーの友地区代表委員



木下 一志
五所川原 RC

地区内のロータリークラブの活動情報を積極的に収集し、ロータリーの友編集部へ提供していきます。地区の活動が雑誌に反映され、他地区のロータリアンにも情報が共有されることを目指します。また、編集部から地区に寄せられる情報も、クラブに適切に伝達していきます。

各クラブの「ロータリーの友」への投稿のお願い

投稿はウェブサイトのフォームからすぐに投稿できます。

有効活用していただき、投稿の機会を増やして頂きたくご協力をお願いいたします。

地区内クラブの記事が掲載されると読む機会が増えるので是非、各クラブで積極的な投稿をお願いします。

ロータリーの友の有効活用を推奨

新会員獲得にも「ロータリーの友」を有効活用することを推奨します。新入会員の獲得と会員の退会防止は、全国共通の課題でもあり、「ロータリーの友」ではこれらのテーマが記事として取り上げられる予定です。

デジタル版の推進

「ロータリーの友」のデジタル版の積極的な活用を推進します。全国で電子版へのアクセスがないクラブが55%に上るため、2830地区では一度もアクセスしていないクラブに対して、その利用を促します。

デジタルアーカイブの推進

過去の貴重な記事や資料はデジタル化され、オンラインでのアクセスが容易になっています。必要な時にいつでも過去の記事や懐かしいメンバーの情報を手軽に取得できるため、このサービスの活用を推進します。



QRコード集

クラブ会長、幹事の皆様をはじめ、すべてのロータリアンにとって有用なサイトをQRコードにしました。スマホで読み取って是非ご活用下さい。

1 My Rotary

<https://my.rotary.org/ja>

→多くの情報はここから入手できます。もしアカウント登録がまだの方は、まずはアカウント登録から始めましょう！

クラブセントラルへの入力や、役員のご登録等もすべてこちらから行います。



2 第2830地区公式ホームページ

<https://www.rid2830.org>

→当地区の公式ホームページです。地区の行事予定、ガバナー月信その他地区の情報はこちらから。



3 2024-25年度の地区スローガンと重点事項

<https://d1hhlyn7v9to5k.cloudfront.net/2024-25/dtts/240217-slogan-hanadage.pdf>

2024.2.17のDTTSで発表した2024-25年度第2830地区の地区スローガン等のパワーポイントのpdfデータです(上)。PETS用のパワーポイントは、下側のQRコードから、「DTTS&PETS」の「2024-2025」の「RI会長テーマと地区運営方針圧縮」をクリックして下さい。



4 JAPAN ROTARY Portal Site

<https://www.japanrotary.club>

The Magic of Rotary (24-25テーマ)、行動計画(Action Plan)、3-Year Rolling Target/Plan、DEI等、最新の情報が掲載されたポータルサイトです。



5 クラブ会長となるための準備

<https://d1hhlyn7v9to5k.cloudfront.net/2024-25/pets/bea-club-president.pdf>

→ラーニングセンターの「クラブ会長の基本」の「就任の準備」：「クラブ会長」からダウンロードできるpdfファイルです。地区のホームページにアップしたものです。クラブ会長に就任する前に学ぶことがまとめられています。



6 クラブ会長のリソース

<https://my.rotary.org/ja/president>

→My Rotaryでクラブ会長の役割や就任への準備のために役立つ資料を紹介しています。



7 My Rotaryでクラブ役員を管理する方法(pdf)

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/how-manage-club-officers>

→クラブの次年度会長以下の役員をMy Rotaryで登録する方法を解説したpdfです。
ここに書かれたとおりに進めると、役員の登録ができます！
役員を登録したら、目標を立てましょう。



8 ロータリークラブ・セントラルを開く方法

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/how-access-rotary-club-central>

クラブセントラルでクラブの目標を入力して下さい。26項目のうち、半分の13項目以上入力することにより、「クラブ優秀賞」(旧ロータリー賞)を受賞するチャンスが生まれます。

目標の入力は、会長だけでなく、登録された幹事や委員長が行うことも可能です。



9 「ロータリー賞の目標と達成方法に関する説明」(pdf)

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/rotary-citation-goals-and-instructions>

クラブセントラルに目標を入力したら、後日目標を達成したことを入力していきます。
目標を達成したことは自己報告方式です。年度内に目標を達成したクラブが、「クラブ優秀賞」(旧ロータリー賞)を受賞できます。地区内全クラブで達成しましょう！



10 「元気なクラブづくりのために」クラブ・リーダーシップ・プラン(pdf)

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/be-vibrant-club-your-club-leadership-plan-japan>

→「元気なクラブ」となるための秘訣の紹介と、そのための具体的な方策が書かれているpdfファイルです。



11 クラブ・リーダーシップ・プラン作成のためのチェックリストワークシート(Word)

<https://d1hhlyn7v9to5k.cloudfront.net/2024-25/pets/CLPchecklist.docx>

→クラブ独自のCLP作成のためのチェックリストです。クラブのニーズに合わせて、追加、編集ができます。

My Rotaryのラーニングセンター「クラブ会長(中級)」→「元気なクラブづくりのために」からダウンロードできるWord形式のチェックリストを地区のホームページにアップしたものです。



12 「クラブの健康チェック」(pdf)

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/rotary-club-health-check>

→クラブの弱いところを客観的に把握するためのチェックリストと対処方法がまとめられているpdfです。





13 戦略計画立案ガイド(pdf)

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/strategic-planning-guide>

→クラブの現状を把握したら、ビジョン(中長期目標)を作成し、3～5年で実現するための計画を立て、進捗を確認するためのツールです。



14 クラブ会長用 活動計画のための年間予定表2024-25年度(pdf)

<https://d1hhlyn7v9to5k.cloudfront.net/2024-25/pets/club-schedule.pdf>

→2024-25年度のRIに関する予定が記載されているpdfファイルです。

My Rotaryのラーニングセンター「クラブ会長の基本」→「クラブの運営」からダウンロードできるファイルを、地区のホームページにアップしています。



(番外)

それでもパソコンやインターネットの操作が苦手な方には

→「委任」という方法があります。会長エレクトに代わって入力してもらうことができますので、クラブのメンバーでパソコンの得意な方をお願いすることも可能です。

<https://my.rotary.org/ja/document/how-delegate-your-online-access>



ロータリー賞／クラブ優秀賞 目標と達成方法に関する説明

ロータリー賞(2024年7月1日より「クラブ優秀賞」に改称)は、各年度のクラブの優れた取り組みを表彰するものです。受賞要件である目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、その参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。クラブが本賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

クラブ優秀賞の受賞資格を満たすには、クラブの会費納入状況が良好である(RIからのクラブ請求書の全額を遅延なく納入している)ことが条件となります。クラブの会費納入状況が良好であることを確認するには、「My ROTARY」のタブにあるクラブ名をクリックしてから、「財務」>「クラブ請求書」の順にクリックしてください。クラブの未納金残高が0ドルである必要があります。会費の納入は、1月中旬または7月中旬に請求書が閲覧可能となり次第、速やかに行ってください。

ロータリークラブのリーダーは、クラブ優秀賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにある目標の中から目標を選ぶことができます。このような柔軟性により、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことができます。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。受賞資格を得るには、クラブは少なくとも半分の目標を6月30日までに達成する必要があります。

クラブ優秀賞を受賞するには、以下を行っていただく必要があります：

1. ロータリークラブ・セントラルを開く
2. 目標の内容を確認する
3. その中から少なくとも半分の目標を選択する
4. 選んだ目標を達成する
5. 6月30日までにロータリークラブ・セントラルで達成を報告する
6. クラブ請求書を受領したら、速やかに請求額の全額を支払う

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、ページ左側にある「クラブの目標」をクリックして開き、年度を選んでから「すべて」をクリックしてください。受賞資格は、6月30日現在の目標達成状況に基づいて決定されます。

参加者の積極的なかわりを促す	
目 標	説 明
奉仕活動への参加	このロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
ロータリー行動グループへの参加	このロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	このロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区大会への参加	地区大会に出席する会員の数
地区研修への参加	役割に備えるためにラーニング行事に出席するクラブリーダーの数
リーダーシップ育成への参加	このロータリー年度にリーダーシップ育成プログラム／活動に参加する会員の数
親睦のための活動	このロータリー年度に、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	このロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料(ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料)をクラブが使用したかどうか

より大きなインパクトをもたらす	
目 標	説 明
奉仕プロジェクト	このロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
来訪する青少年交換学生	このロータリー年度にバーチャル形式または対面式でクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	このロータリー年度にバーチャル形式または対面式でクラブが派遣する青少年交換学生の数 ¹
年次基金への寄付	このロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	このロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	このロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に10,000米ドル以上の寄付を誓約することを初めてロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知、または恒久基金に1,000米ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数

¹ロータリー青少年交換に参加するすべてのクラブがRIの方針とロータリー青少年交換資格認定の基準に従わなければならない。地区ロータリー青少年交換プログラムの直接の監督下に運営されなければならない。

参加者の基盤を広げる	
目 標	説 明
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
新会員の推薦	このロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ローターアクトクラブ	このロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	このロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
RYLA参加者	このロータリー年度に対面式またはバーチャル形式でクラブが支援するRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)参加者の数
クラブのプロジェクトのメディア掲載	このロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
適応力を高める	
目 標	説 明
クラブ戦略計画	クラブには独自の戦略計画(長期計画)があるか
クラブ細則の見直し	会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されているかどうか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	このロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか

改定：2024年2月

近時の国際ロータリー理事会の決定事項のうち、特に重要な事項

2024年1月

以下の地区を隣接地区と合併することに同意する：

(略)

第2830地区(日本)

(略)

これらの地区が2026年7月1日までに会員数1,100名に達しなかった場合、2028年7月1日より本決定は有効となります。また、地区指導者リーダーに以下の書類を提出するよう要請します：

- 2024年3月31日までに2023-24年度ガバナーより「地区成長戦略」を、2025年3月31日までには2024-25年度ガバナーよりアップデートされた同「地区成長戦略」を提出すること；
- 2024年9月30日(2023-24年度ガバナー)と2025年9月30日(2024-25年度ガバナー)までに「地区成長活動報告書」を提出すること；
- 2026年1月31日までに合併する地区を特定する地区合併計画(2025-26年度ガバナー)；

2023年10月

- * ロータリー賞の名称を「クラブ優秀賞」に変更しました(2024年7月1日より有効)。
- * 2025-26ロータリー年度以降、新しい会長イニシアチブの開始を廃止することに同意し、新プログラムの提案については指定された手続きに従うよう、今後の会長に奨励しました。
- * 2025-26年度から、会長の年次テーマとロゴの作成を廃止することに同意しました。
- * 2024-25年度からクラブ、地区、ゾーンレベルの3年間の段階的なターゲットと、3年間の段階的な地域計画を設定するプロセスを承認しました。



国際ロータリー第 2830 地区

地区案内

地区組織図	28
地区委員会構成	29
地区主要行事予定表	30
ガバナー公式訪問予定表	31
ガバナー公式訪問カレンダー	32
地区予算書	33
特別会計収支計算書	34
委員会活動予算書	34
送金カレンダー	35
報告カレンダー	36
ロータリー関係事務所一覧	37
地区内クラブ一覧表	38
地区事務所組織表	40



2024-25年度 地区委員会構成

◎委員長 ○副委員長 (敬称略、順不同)

ガバナー	花田 勝彦 (五所川原)			
ガバナーエレクト	米谷 恵司 (青森モーニング)			
副ガバナー	築館 智大 (八戸)			
研修委員会	◎山崎 淳一 (五所川原) ○沼田 廣 (青森)			
ガバナー指名委員会	沼田 廣 (青森) ◎源新 和彦 (八戸北) 成田 秀治 (五所川原イヴニング) 田中 常浩 (むつ) 築館 智大 (八戸)			
地区諮問委員会	黒田 正宏 (八戸南) 関場 慶博 (弘前アップル) 大柳 繁造 (青森) 島村吉三久 (五所川原イヴニング)	笹森 剛 (弘前) 鐘ヶ江義光 (八戸東) 山崎 淳一 (五所川原) 村井 達 (八戸)	小山内康晴 (弘前) 北山 輝夫 (八戸北) 工藤 武重 (弘前西) 鈴木 唯司 (青森モーニング)	長嶺 康廣 (八戸南) 佐々木千佳子 (十和田) 今井 高志 (弘前) 沼田 廣 (青森)
財務委員会	◎木村 康仁 (五所川原) 小林 幹夫 (八戸) 木村 裕 (青森モーニング)			
地区表彰委員会	◎築館 智大 (八戸) 花田 勝彦 (五所川原) 米谷 恵司 (青森モーニング) ガバナー補佐6名			
国際大会推進委員会	◎中山 佳 (五所川原) ガバナー補佐6名			
R L I 委員会	【日本支部顧問】黒田 正宏 (八戸南) 【日本支部ファシリテーター委員会副委員長】山崎 淳一 (五所川原) 【地区代表ファシリテーター】源新 和彦 (八戸北)			
	◎三浦 真介 (弘前) 欠畑 茂治 (十和田東) 三上 信吾 (弘前) 最上 伸子 (青森モーニング)	橘 正宏 (青森モーニング) 石川佳共子 (青森) 西田 文仁 (青森) 瀬川 孝友 (青森)	道尻 誠助 (八戸) 石橋 信雄 (八戸)	
戦略計画委員会	◎今井 高志 (弘前) 山崎 淳一 (五所川原) 沼田 廣 (青森) 源新 和彦 (八戸北)			
	田中 常浩 (むつ) 築館 智大 (八戸) 花田 勝彦 (五所川原) 米谷 恵司 (青森モーニング)	成田 俊介 (弘前西) ガバナー補佐6名		
危機管理委員会	◎鈴木 唯司 (パストガバナー・医師) 花田 勝彦 (ガバナー・弁護士) 築館 智大 (直前ガバナー) 米谷 恵司 (ガバナーエレクト)			
	工藤 孝子 (公共イメージ向上) 柴田 文彦 (国際奉仕) 岡山 信広 (青少年交換) 松山 隆志 (インターアクト)	竹内 知弘 (ローターアクト) 三浦 基 (RYLA) 佐藤 一尚 (米山記念奨学)		
地区監査委員会・地区財団監査委員会	◎高木 邦男 (五所川原中央) 北山 輝夫 (八戸北) 桃野 敬 (青森)			
ガバナー補佐	東第1グループ：蛭沢 公洋 (東北) 東第2グループ：佐々木紀仁 (十和田東)			
	西第1グループ：小田桐 浩 (五所川原イヴニング)		西第2グループ：成田 学 (弘前アップル)	
	中グループ：蝦名 正治 (青森北東)		南グループ：島浦 理 (八戸西)	
ロータリーの友地区代表	木下 一志 (五所川原)			

会員増強部門	アドバイザー：工藤 武重 PG 副：築館 智大 PG	クラブ拡大・会員増強委員会	◎吉田 賢治 (八戸南) 峯 雅夫 (むつ) 吉田 敏宏 (おいらせ)
			石川佳共子 (青森) 浅利 壽信 (五所川原) 齊藤直飛人 (板柳)
公共イメージ向上部門	アドバイザー：今井 隆志 PG 副：北山 輝夫 PG	公共イメージ向上委員会	◎工藤 孝子 (弘前東) 齊下 了介 (十和田甲) 高瀬 英人 (五所川原)
			花田 仁 (三沢東) 吉田 立盛 (八戸南) 小山内紀暢 (八戸)
			赤城麻依子 (五所川原イヴニング) 成田 和代 (五所川原イヴニング) 安田美香子 (五所川原イヴニング)
社会奉仕・職業奉仕部門	アドバイザー：源新 和彦 PG 副：小山内康晴 PG	社会奉仕・職業奉仕委員会	◎岩岡 隆雄 (八戸東) 長谷川 通 (五所川原) 時苗 俊二 (弘前西)
			古川 勉 (青森)
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	地区補助金委員会	◎西尾 和樹 (八戸南) 新岡壮太郎 (青森モーニング) 宮崎 敬也 (五所川原中央)
			中畑 肇 (弘前西)
アドバイザー：長嶺 康廣 PG 副：成田 秀治 PG	◎佐藤 健一 (青森) 工藤 真人 (青森)	グローバル補助金委員会	◎須藤 朗 (野辺地) 小泉 陽大 (六ヶ所) 伊東 睦 (三沢東)
		資金推進委員会	◎榎引 大樹 (青森) 新屋 督志 (青森モーニング) ガバナー補佐6名
		平和フェローシップ・奨学金・学友委員会	◎竹島 直樹 (十和田東) 佐藤 健一 (青森) 工藤 真人 (青森)
		ポリオプラス委員会	◎成田 俊介 (弘前西) 土橋 伸行 (青森モーニング) 坂本 幸光 (鶴田)
			紺野 広 (八戸) 勝 (十和田甲)
国際奉仕・青少年交換部門	アドバイザー：沼田 廣 PG 副：村井 達 PG	国際奉仕委員会	◎柴田 文彦 (むつ中央) 白山 春男 (十和田東)
		青少年交換委員会	◎岡山 信広 (六ヶ所) 小関 優 (鶴田) 細川 勝也 (弘前)
		ローターアクト委員会	◎白鳥 五大 (青森) 石橋 伸之 (八戸東)
		インターアクト委員会	◎竹内 知弘 (弘前西) 白鳥 五大 (青森) 川浪 剛功 (五所川原)
			坂本慎之介 (むつ RAC)
		RYLA委員会	◎松山 隆志 (野辺地) 石橋 博仁 (三沢) 太田 薫 (十和田)
			太田 哲也 (弘前) 村塚 正隆 (青森モーニング) 伊藤 圓子 (八戸中央)
			正部家淳司 (八戸)
			◎三浦 基 (青森) 三戸 靖史 (五所川原イヴニング)
			須藤 一幸 (青森モーニング) 伊藤 幸生 (青森) 藤川 聡 (青森)
			奈良 明仁 (つがる) 齋藤 義史 (弘前) 松下千賀子 (弘前東)
			村岡 徹弥 (八戸西)
米山記念奨学部門	アドバイザー：田中 常浩 PG 副：鐘ヶ江義光 PG	米山記念奨学委員会	◎佐藤 一尚 (青森) 清藤 繁光 (五所川原) 野坂 幸子 (野辺地)
			高井 孝治 (つがる) 佐藤玲恵子 (弘前西) 坂井 哲博 (青森モーニング)
			時苗亜希子 (青森北東) 山村 和芳 (八戸) 工藤 高明 (三戸)
DEI推進委員会	アドバイザー：佐々木千佳子 PG 副：鈴木 唯司 PG	DEI推進委員会	◎源新 育子 (八戸北) 久保 隆明 (八戸北) 白濱 憲一 (むつ)
			岩木 節子 (十和田) 増田 卓也 (五所川原) 柏 公市 (青森)

地区事務所	地区幹事長	木村 重介 (五所川原)
	地区副幹事長	今 広樹 (五所川原)・平山 敦士 (五所川原)・敦賀 鉄正 (五所川原)
	地区会計長	寺田 和仁 (五所川原)
	地区幹事	阿部 哲也・太田 康成・今 直樹・佐藤 昭義・野上 友明・中山 佳 小笠原崇文・成田 学治・浅利 壽信・寺田 明代 (五所川原) 清野 悟 (つがる)・宮崎 敬也 (五所川原中央)
専属事務局員	浅利 育子	

2024-25 年度 地区主要行事予定表

開催年月日		行 事 名	開催場所	
2024	7月	1 日(月)	2024-25年度 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京プリンスホテル
		13日(土)	第1回財団セミナー	アスパム
		25日(木)	南グループ合同例会	八戸プラザホテルアーバンホール
	9月	2 日(月)～3 日(火)	2024-25年度 第1回ガバナーエレクト研修セミナー(GETS#1)	パシフィコ横浜 会議センターほか
		4 日(水)	2025-26年度の地区ラーニングファシリテーターのためのセミナー	パシフィコ横浜 会議センター
		21日(土)	米山フォーラム(米山の集い)	ホテル青森
	10月	12日(土)	会長幹事会、地区指導者育成セミナー・RI会長代理歓迎晩餐会	ホテルサンルート五所川原
		13日(日)	地区大会・大懇親会	オルテンシア/プラザマリユウ
	11月	9 日(土)	三沢東RC 創立40周年	三沢市公会堂ほか
		23日(土)～27日(水)	ポリオワクチン接種活動	パキスタン・カラチ
	12月	1 日(日)	西第2グループIM	未定
		7 日(土)～8 日(日)	R L I	はまなす会館
		12日(木)～15日(日)	第53回ロータリー研究会ならびに付随プログラム	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテルほか
		21日(土)	第2回財団セミナー	ホテル青森
		25日(水)～29日(日)	予定)アクトの翼 ※12/25出発予定、12/29帰着予定	台湾・台北市及び宜蘭県羅東地区
	2025	1月	19日(日)	ガバナーエレクト壮行会
25日(土)			職業奉仕フォーラム	
2月		9 日(日)～13日(木)	ガバナーエレクト国際協議会	米国フロリダ州オーランド
		22日(土)	南グループIM	八戸プラザホテルアーバンホール
3月		1 日(土)	米山奨学生 修了証書授与式	ホテル青森
		2 日(日)	地区チーム研修セミナー	リンクステーションホール青森 ホテル青森
		22日(土)～23日(日)	会長エレクト研修セミナー	リンクステーションホール青森 ホテル青森
4月		5 日(土)	十和田RC 創立65周年	サン・ロイヤルとわだ
		12日(土)	十和田東RC 創立60周年	サン・ロイヤルとわだ
		13日(日)	仮)米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション	仮)ホテル青森
		17日(木)～18日(金)	クラブ活性化セミナー2025	JPタワーホール&カンファレンス(予定)
		19日(土)	八戸南RC 創立50周年	八戸パークホテル
		26日(土)	地区クラブ活性化ワークショップ	ホテルサンルート五所川原
5月		10日(土)	地区研修協議会	リンクステーションホール青森 ホテル青森
		17日(土)	米山奨学生卓話講習会	ホテル青森
6月		7 日(土)～8 日(日)	第28回日本青少年交換研究会 青森会議	リンクステーションホール青森ほか
		14日(土)	女性会員の集い	
		14日(土)～15日(日)	RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)	未定
		21日(土)～25日(水)	国際大会	カナダ・カルガリー

2024-25 年度 ガバナー公式訪問予定表

	クラブ名	例会日	会長・幹事面談	クラブ協議会	公式訪問例会	例会場所
東第1グループ	む つ	7月16日 (火)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	むつグランドホテル
	野 辺 地	7月9日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ウロコマル野坂屋 蔵 (KURA)
	七 戸	7月18日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	七戸商店会協同組合 2F
	東 北	9月9日 (月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	青森原燃テクノロジーセンター
	む つ 中 央	9月25日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	はねやホテル
	六 ケ 所	9月26日 (木)	10:00～	11:00～	12:00～13:00	スパハウスろっかぼっか
東第2グループ	三 沢	9月17日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	きざん三沢
	十 和 田	8月20日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	サン・ロイヤルとわだ
	十 和 田 東	9月12日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	サン・ロイヤルとわだ
	お い ら せ	9月18日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	レストランカワヨグリーンロッジ
	三 沢 東	9月19日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	きざん三沢
	十 和 田 八 甲	9月11日 (水)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	十和田シティホテル
西第1グループ	五 所 川 原	10月9日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテルサンルート五所川原
	金 木	7月23日 (火)	16:00～	17:00～	18:00～19:00	奴寿し
	鯡 ケ 沢	7月11日 (木)	16:00～	17:00～	18:00～19:00	水軍の宿
	鶴 田	7月22日 (月)	10:00～	11:00～	12:00～13:00	鶴田町役場国際交流会館
	五所川原中央	8月22日 (木)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	ホテルサンルート五所川原
	つ が る	7月23日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	つがる市商工会 2F
	五所川原イブニング	10月10日 (木)	15:00～	16:00～	17:00～18:00	ホテルサンルート五所川原
西第2グループ	弘 前	7月29日 (月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	RAGLEY (ラグリー)
	弘 前 東	8月7日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	アートホテル弘前シティ
	板 柳	7月30日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	板柳町商工会館 2F
	黒 石	8月8日 (木)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	赤提灯 2F
	大 鰐	8月6日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	山忠会館
	弘 前 西	9月24日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	創作郷土料理の店 菊富士 本店
	平 賀 ・ 尾 上	9月24日 (火)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	南田温泉ホテルアップルランド
	弘前アップル	8月26日 (月)	17:00～	18:00～	19:00～20:00	弘前総合学習センター
中グループ	青 森	7月25日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテル青森
	青 森 北 東	8月28日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテル青森
	青 森 中 央	8月26日 (月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテル青森
	青森モーニング	8月27日 (火)	10:00～	11:00～	12:00～13:00	ホテル青森
南グループ	八 戸	7月3日 (水)	16:00～	17:00～	18:00～19:00	八戸グランドホテル
	八 戸 東	9月20日 (金)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸パークホテル
	三 戸	8月21日 (水)	15:00～	16:00～	17:00～18:00	鴛鴦殿
	五 戸	9月4日 (水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	アピル五戸
	南 部	10月1日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	バーデパーク アヴァンセ
	八 戸 北	9月3日 (火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸プラザホテル
	八 戸 南	9月5日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸パークホテル
	八 戸 中 央	7月8日 (火)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	八戸プラザホテル
	八 戸 西	10月3日 (木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸プラザホテル

2024-25 年度 ガバナー公式訪問カレンダー

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
7月		1	2	3 八戸 16:00～	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	八戸中央 16:00～	野辺地 10:00～		鱒ヶ沢 16:00～			
	21	15 海の日	16 むつ 16:00～	17	18 七戸 10:00～	19	20	
	28	22 鶴田 10:00～	23 つがる 10:00～ 金木 16:00～	24	25 青森 10:00～	26	27	
		29 弘前 10:00～	30 板柳 10:00～	31				
					1	2	3	
	8月	4	5	6 大鰐 10:00～	7 弘前東 10:00～	8 黒石 16:00～	9	10
11 山の日		12 振替休日	13	14	15	16	17	
18		19	20 十和田 10:00～	21 三戸 15:00～	22 五所川原中央 16:00～	23	24	
25		26 青森中央 10:00～ 弘前アップル 17:00～	27 青森モーニング 10:00～	28 青森北東 10:00～	29	30	31	
9月		1	2	3 八戸北 10:00～	4 五戸 10:00～	5 八戸南 10:00～	6	7
		8	9 東北 10:00～	10	11 十和田八甲 16:00～	12 十和田東 10:00～	13	14
		15	16 敬老の日	17 三沢 10:00～	18 おいらせ 10:00～	19 三沢東 10:00～	20 八戸東 10:00～	21
		22 秋分の日	23 振替休日	24 弘前西 10:00～ 平賀・尾上 16:00～	25 むつ中央 10:00～	26 六ヶ所 10:00～	27	28
	29	30						
	10月			1 南部 10:00～	2	3 八戸西 10:00～	4	5
		6	7	8	9 五所川原 10:00～	10 五所川原イブニング 15:00～	11	12
		13	14	15	16	17	18	19
20		21	22	23	24	25	26	
27		28	29	30	31			

2024-25 年度 地区予算書

[事業活動収入の部]

項目	内 訳	2024-25 花田(A)	2023-24 築館(B)	増減 (A)-(B)	備 考
地区資金	一般会費収入 (@ 25,000 円)	28,000,000	25,250,000	- 2,750,000	12,500円×1,100名+ 12,500円×1,140名
	特別会費収入	3,024,000	3,051,000	- 27,000	2,700円×上下期会員数(協力金)
RI ガバナー基本業務交付金		1,123,347	1,025,830	95,517	
雑収入	利息等	0	0	0	
	合 計	32,147,347	32,326,830	- 179,483	

[事業活動支出の部]

項目	内 訳	2024-25 花田(A)	2023-24 築館(B)	増減 (A)-(B)	備 考
1. 事業支出	計	23,443,100	23,537,950	- 94,850	
①会議・研修費支出	計	7,200,000	7,200,000	0	
	会長エレクト研修セミナー	400,000	400,000	0	上限 40万 地区運営資金要綱 (1)
	地区チーム研修セミナー	400,000	400,000	0	上限 40万 以下省略 (2)
	地区研修委員会	100,000	100,000	0	上限 20万 (3)
	地区研修・協議会	400,000	400,000	0	上限 40万 (4)
	I M (グループ合同会議)	600,000	600,000	0	グループ各10万×6地区 (5)
	地区大会	5,000,000	5,000,000	0	
	〃 (運営資金要綱によるもの)	300,000	300,000	0	上限 30万 (6)
②運営活動支出	計	1,000,000	940,000	60,000	
	諮問委員会	250,000	250,000	0	
	ガバナー補佐会議	100,000	100,000	0	
	戦略計画会議	100,000	100,000	0	
	地区危機管理委員会	50,000	50,000	0	
	〃 実務活動費 (事故発生時)	100,000	100,000	0	
	〃 RIJYEM	100,000	100,000	0	保険加入
	RLI 委員会	300,000	240,000	60,000	
③委員会活動	計	5,600,000	5,550,000	50,000	
	クラブ奉仕部門 (会員増強)	300,000	300,000	0	
	クラブ奉仕部門 (公共イメージ)	1,100,000	1,100,000	0	
	社会奉仕・職業奉仕部門	300,000	400,000	- 100,000	
	国際奉仕部門	300,000	300,000	0	
	ロータリー財団部門	700,000	750,000	- 50,000	ポリオ対策費含む
	青少年奉仕部門 (青少年交換委員会)	800,000	800,000	0	日本青少年交換研究会等への参加費補助を含む
	〃 (インターアクト委員会)	400,000	400,000	0	
	〃 (ローターアクト委員会)	450,000	500,000	- 50,000	
	〃 (ライラ委員会)	600,000	600,000	0	
	米山記念奨学会部門	350,000	400,000	- 50,000	
	DEI 部門	300,000		300,000	
④活動助成金支出	計	6,800,000	7,000,000	- 200,000	
	ガバナー活動助成金	2,000,000	2,000,000	0	上限 200万 (7)
	ガバナー活動 (公式訪問費用)	800,000	800,000	0	
	ガバナーエレクト活動助成金	400,000	400,000	0	上限 40万 (8)
	ガバナーノミニ活動助成金	100,000	100,000	0	上限 10万 (9)
	ガバナー補佐活動助成金	1,000,000	1,000,000	0	40クラブ × 25,000 (10)
	青少年交換受入クラブ助成金	200,000	400,000	- 200,000	受け入れクラブ20万円 × 1クラブ
	ガバナーエレクト国際協議会参加助成金	300,000	300,000	0	上限 30万 (11)
	ガバナーエレクト研修セミナー参加助成金	200,000	200,000	0	上限 20万 (12)
	国際大会地区代表出席者参加助成金	300,000	300,000	0	上限 30万 (13)
	RI 諸事業参加助成金	1,200,000	1,200,000	0	上限 200万 (14)
	他地区交流助成金	300,000	300,000	0	タイ水事業他
⑤地区拠出金支出	計	803,100	807,950	- 4,850	
	ガバナー運営協力金	224,000	226,000	- 2,000	1,100名×100円+ 1,140円×100円
	ロータリー文庫協力金	224,000	226,000	- 2,000	1,100名×100円+ 1,140円×100円
	米山梅吉記念館協力金	114,000	113,000	1,000	1,140名×100円
	RI 日本青少年交換委員会協力金	224,000	226,000	- 2,000	1,100名×100円+ 1,140円×100円
	平和奨学生支援金	17,100	16,950	150	1,140名×15円
⑥その他事業費	計	2,040,000	2,040,000	0	
	表彰状・記念品代	400,000	400,000	0	
	ガバナーエレクト杜行会	400,000	400,000	0	上限 40万 (15)
	直前ガバナー引退記念品代	100,000	100,000	0	上限 10万 (16)
	ガバナー月信	20,000	20,000	0	
	送料・写真代・ファイル代支出	20,000	20,000	0	
	新設クラブ助成金	100,000	100,000	0	上限 10万 (17)
	地区規程による旅費交通費支出	1,000,000	1,000,000	0	
2. 管理費支出	計	8,350,000	8,350,000	0	
	地区事務所管理費	8,050,000	8,050,000	0	
	〃 (ガバナーエレクト分)	300,000	300,000	0	
3. 特別資産取得支出	規定審議会代議員旅費助成積立金	100,000	100,000	0	上限 10万円 (18)
4. 予備費支出	予備費	254,247	338,880	- 84,633	但し、当初予算にかかわらず戦略計画委員会で検討の上、会員増強の活動のために支出することがある。
	合 計	32,147,347	32,326,830	- 179,483	

内 訳	2024-25 花田(A)	2023-24 築館(B)	増減 (A)-(B)	備 考
一般会計収入予定額	32,147,347	32,326,830	- 179,483	
一般会計支出予算額	32,147,347	32,326,830	- 179,483	
差引残高	0	0	0	
前年度繰り越し予定額	25,176,799	25,176,799	0	2022-23 年度末次期繰越額
次期繰り越し予定額	25,176,799	25,176,799	0	

2024-25 年度 特別会計収支計算書

国際平和資金 特別会計

項目	内 訳	2024-25 花田(A)	2023-24 築館(B)	増減 (A)-(B)	備 考
収 入	献金収入	1,710,000	1,695,000	15,000	1,500円×1,140名
	雑収入				
	収入計	1,710,000	1,695,000	15,000	

項目	内 訳	2024-25 花田(A)	2023-24 築館(B)	増減 (A)-(B)	備 考
支 出	国際奉仕部門（新規事業調査他）	300,000	300,000	0	
	青少年奉仕部門（アクト交流会）	1,100,000	1,100,000	0	
	予備費（災害支援他）	310,000	295,000	15,000	
	支出計	1,710,000	1,695,000	15,000	

内 訳	2024-25 花田(A)	2023-24 築館(B)	増減 (A)-(B)	備 考
差引残高	0	0	0	
前年度繰り越し予定額	9,524,493	9,524,493	0	2022-23 年度末次期繰越額
次期繰り越し予定額	9,524,493	9,524,493	0	

米山記念奨学会 特別会計

項目	内 訳	2024-25 花田(A)	2023-24 築館(B)	増減 (A)-(B)	備 考
収 入	米山記念奨学会交付金	580,000	580,000	0	米山記念奨学会より
	米山奨学生選考試験補助費	140,500	140,500	0	米山記念奨学会より
	委員会活動費	350,000	400,000	- 50,000	地区一般会計より
	ロータリアン会費	100,000	100,000	0	登録料収入
	収入計	1,170,500	1,220,500	- 50,000	

項目	内 訳	2024-25 花田(A)	2023-24 築館(B)	増減 (A)-(B)	備 考	
支 出	奨 学 生 活 動 費	米山フォーラム・米山の集い	500,000	500,000	0	
		修了証書授与式	200,000	200,000	0	
		オリエンテーション・歓迎会	200,000	200,000	0	
	米山奨学生選考試験費	140,500	140,500	0		
	予備費	130,000	180,000	- 50,000		
	支出計	1,170,500	1,220,500	- 50,000		

2024-25 年度 委員会活動予算書

項目	内 訳	2024-25 花田(A)	2023-24 築館(B)	増減 (A)-(B)	備 考
クラブ奉仕部門	会員増強委員会	300,000	300,000	0	
	公共イメージ向上委員会	1,110,000	1,110,000	0	
社会奉仕・職業奉仕部門	社会奉仕・職業奉仕委員会	300,000	400,000	- 100,000	
国際奉仕部門	国際奉仕委員会	300,000	300,000	0	
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	450,000	500,000	- 50,000	
	地区補助金委員会			0	
	グローバル補助金委員会			0	
	資金推進委員会			0	
	奨学金・学友委員会			0	
	ポリオプラス委員会	250,000	250,000	0	ポリオ対策費
青少年奉仕部門	青少年交換委員会（ローテックス関連含む）	800,000	800,000	0	日本青少年交換研究会等への参加費補助を含む
	インターアクト委員会	400,000	400,000	0	
	ローターアクト委員会	450,000	500,000	- 50,000	
	R Y L A	600,000	600,600	0	
R米山記念奨学部門	R米山記念奨学委員会	350,000	400,000	- 50,000	
DEI 部門	DEI 委員会	300,000			
	収 入 計	5,600,000	5,550,000	50,000	

2024-25 年度 送金カレンダー

区分	送金項目	年額/1人	総金額	摘要	納入期限	送金先	送金報告先	
国際ロータリー関係	人頭分担金 (10名未満も実人数分)	\$78.5	\$39.25 × 会員数	2024年7/1現在会員数	上期 2024.7/31 下期 2025.1/31	三井住友銀行新宿通支店 普通預金 No.6733244 国際ロータリー日本事務局	【寄付送金明細書にて】 国際ロータリー日本事務局 FAX: 03-5439-0405 ※メールが望ましい E-mail: kifufu@rotary.org	
	RAC: 大学拠点のクラブ 地社会基盤のクラブ	\$5 \$8	\$5 × 会員数 \$8 × 会員数	2025年1/1現在会員数	2025.1/31			
	比例人頭分担金		半期人頭分担金 ÷ 6 × 在籍月数 半期人頭分担金 ÷ 6 × 在籍月数	2024.7/1~12/1入会の会員数 2025.1/1~6/1入会の会員数	2025.1/31			
	RI 規定審議分会分担金	\$1	\$1 × 会員数	2024.7/1現在会員数	2024.7/31			
	【Rotary】誌購読料 (RI 機関雑誌)	\$36	\$18 × 購読部数 \$18 × 購読部数	標準クラブ定款第15条を参照	上期 2024.7/31 下期 2025.1/31			
	個人寄付・法人寄付・クラブの寄付・地区の寄付 (税制上の優遇措置対象) ※ 認証レベルは認証一覧参照							
	寄付金分類	メジャー・ドナー / アーチ・クラブ / ソサエティ		ベネファクター				
	年次基金-シエア	○	○	○	財団の友会員 / 年次基金寄付ゼロクラブ			
	恒久基金-シエア	○	○	○				
	ポリオプラス	○	○	○				
クローバル補助金 (GG)	○	○	○					
冠名基金 (E)	○	○	○					
年次基金使途指定寄付	○	○	○					
恒久基金使途指定寄付	○	○	○					
冠名指定寄付 (T)	○	○	○					
その他	—	—	—					
R 友関係	ロータリーの友 購読料	¥3,300	¥1,650 × 購読部数	途中入会は月割 ¥275	上期 2024.7/31 下期 2025.1/31	三井住友銀行浜松町支店 普通預金 No.7450015 一般社団法人ロータリーの友事務局	申込先: 一般社団法人ロータリーの友事務局 FAX: 03-3436-5956	
	ロータリーソング・CD				注: 文次第			
R 米山記念奨学会	普通寄付 (会員数分をクラブで送金)	¥3,000 以上	¥1,500 以上 × 会員数 ¥1,500 以上 × 会員数	¥500 単位で増額が可能	上期 2024.7/31 下期 2025.1/31	三井住友銀行京橋支店 普通預金 No.0920373 (公財) ロータリー米山記念奨学会	【普通寄付送金明細書】 【特別寄付送金明細書】 (公財) ロータリー米山記念奨学会 FAX: 03-3578-8281 E-mail: mail@rotary-yoneyama.or.jp	
	特別寄付 (ロータリアン、ロータリークラブ以外の個人、法人、団体からも受け付けます)		準米山功労者 米山功労者 準米山功労法人 米山功労法人 米山特別功労法人	累計3万円以上 累計10万円毎 累計50万円以上 累計100万円以上				
	地区資金	¥25,000	¥12,500 × 会員数	2024年7/1現在会員数	2024.7/31			
	ガバナー会運営協力金	¥200	¥100 × 会員数	2024年7/1現在会員数	2024.7/31			
	ロータリー文庫運営協力金	¥200	¥100 × 会員数	2024年7/1現在会員数	2024.7/31			
地区関係	RI JYEM 維持協力金	¥200	¥100 × 会員数	2024年7/1現在会員数	2024.7/31	青森銀行本店 普通預金 No.3118385 RI 第2830地区資金 会計長 寺田 和仁	地区事務所 FAX: 017-732-2831 E-mail: rid2830@out.look.jp	
	地区大会協力金	¥2,000	¥100 × 会員数	2024年7/1現在会員数	2024.7/31			
	米山梅吉記念館協力金	¥100	¥100 × 会員数	2024年7/1現在会員数	2024.7/31			
	国際平和資金							
	例会時の献金							
				上期 2024.7/1 ~ 12/31 下期 2025.1/1 ~ 6/30				

2024-25 年度 報告カレンダー

No.	報告事例	報告期限	報告先	備考
1	会員数及び出席報告	翌月 15 日必着	地区事務所	月例報告書を E-mail 又は FAX で提出
2	クラブ計画及び目標の要約	7 月 1 日まで	RI 日本事務局	My Rotary 「クラブセントラル」 に入力
3	クラブ活動計画書	公式訪問の 2 週間前	地区事務所へ 3 部 送付 (ガバナー 担当ガバナー補佐 地区事務所)	郵送にて提出
4	次年度クラブ会長・幹事報告 (公式名簿記載資料)	2 月 1 日まで	RI 日本事務局	My Rotary 入力
5	国際大会信任状証明書及び投票代 議員カード	4 月	地区事務所	用紙は RI よりメール にて直接クラブに 配信
6	地区大会・選挙人証明	ガバナーより通知 する期日	地区事務所	《参考》 RI 細則第 15 条
7	入会、退会届	その都度	RI 世界本部	My rotary 入力
8	入会、物故届（月信用）	翌月 15 日まで	地区事務所	月信掲載報告書に 写真を添え E-mail 又は FAX で提出
9	①クラブ会長、幹事、職業分類、 例会場、日時	その都度	RI 日本事務局 地区事務所 ロータリーの友 事務所	用紙の指定のない ものは任意の様式で 提出
	②所在地域、クラブ名称の改正			
	③ローターアクト、インターアクト 関係			
	④クラブに関するその他の報告			

ロータリー関係事務所一覧

◇国際ロータリー世界本部

Rotary International world Headquarters	One Rotary Center, 1560 Sherman Ave. Evanston, Illinois 60201-3698, U. S. A. 電話：1 (アメリカの国番号) -847-866-3000 FAX：1-847-328-8554 ※ご契約の電話会社によりまして、識別番号が必要な場合がございます のでご注意ください。
--	---

◇国際ロータリー日本事務局

住所・FAX	〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24F FAX (共通)：03-5439-0405
クラブ・地区支援室	電話：03-5439-5800 (定款・細則、クラブ・地区運営、My ROTARY アカウント登録)
財団室	電話：03-5439-5805 (財団への寄付、認証、補助金)
経理室	電話：03-5439-5803 (人頭分担金・寄付の入金処理)
業務推進・IT室	電話：03-5439-5802 (認証品発送、電子資料案内、システム関連)

ガバナー会事務局	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-3433-6497 FAX：03-3433-7395 E-mail:govkai@orange.ocn.ne.jp
----------	--

RIJYEM事務所(一般社団法人 国際ロータリー日本青少年交換 多地区合同機構)	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-6431-8106 FAX：03-6431-8107 E-mail:rijyem@air.ocn.ne.jp
--	---

ロータリー文庫	〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-16 第3小森谷ビル別館6F 電話：03-3433-6456 FAX：03-3459-7506
---------	--

一般社団法人 ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-3436-6651 FAX：03-3436-5956
----------------------	--

公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281
------------------------	--

公益財団法人米山梅吉記念館	〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1 電話：055-986-2946 FAX：055-989-5101
---------------	---

国際ロータリー第2830地区 地区事務所	〒030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森内 電話：017-732-2830 FAX：017-732-2831 E-mail:rid2830@outlook.jp URL:https://www.rid2830.org
-------------------------	--



2024-25 年度 地区内クラブ一覧表

Table with columns: 地区 (District), クラブ名 (Club Name), 会長名 (President Name), 幹事名 (Secretary Name), 〒クラブ住所 (Club Address), TEL/FAX (Phone/Fax), E-mail (Email), 〒例会場所 (Meeting Location), TEL/FAX (Phone/Fax), 例会曜日 (Meeting Day), 例会時間 (Meeting Time)

分 区	クラブ名	会長名	幹事名	〒 クラブ住所	TEL / FAX		〒 例会場所	TEL		例会曜日	例会時間
					E-mail	FAX		FAX			
西 第 2 グ ル	弘 前	河端 一秀	シメゴ 三上 信吾	036-8032 弘前市徳田町 29-3 S.K.K. リカレントスクール 3 階	0172-33-7678 / 0172-33-5250	0172-36-2277	弘前市野田 1 丁目 4-1 RAGLEY (ラグリー)	0172-36-2277	月曜日	12:30 (月 1 回) 18:30	
	弘 前 東	工藤 孝子	カスヒロ 朝倉 和広	036-8032 弘前市徳田町 29-3 S.K.K. リカレントスクール 3 階	0172-33-7678 / 0172-33-5250	0172-37-0700	弘前市大町 1-1-2 アートホテル弘前シティ	0172-37-0700	水曜日	12:30 (2 分間) 18:00	
	板 柳	賀藤直飛人	ミカミ 三上 忠男	038-3661 北津軽郡板柳町大字権野田字美田 45-17 三和設備内	0172-73-2920 / 0172-73-3922	0172-73-3254	北津軽郡板柳町大字権野田字美田 30-7 板柳商工会館 2 階	0172-73-3254	火曜日	12:30	
	黒 石	渡辺 恵子	ヒロシ 増川 博基	036-0307 黒石市市ノ町 5-2 黒石商工会館内	0172-52-4316 / 0172-52-9997	0172-52-7336	黒石市甲徳兵衛町 36 赤堤灯 2 階	0172-52-7336	木曜日	12:00 (第 1 回) 18:30 (第 2 回) 18:30	
	大 鰐	佐藤 淳	サトウ 山本 智	038-0212 南津軽郡大鰐町大字蔵館字湯ノ沢 4-3 南大鰐振興内	0172-47-9040 / 0172-48-2890	0172-48-5038	南津軽郡大鰐町大字大鰐字大鰐 59-3 山忠会館	0172-48-5038	火曜日	12:30	
	弘 前 西	樋川 新一	ヒシノ 草刈 保昌	036-8036 弘前市鉄砲町 1-1	0172-32-7731 / 0172-32-7732	0172-36-3300	弘前市坂本町 1 創作郷土料理の店 菊富士本店	0172-36-3300	火曜日	12:30 (1 回目) 12:30 (2 回目) 18:30	
	平 賀・尾 上	齋藤 憲法	シメノ 俊一	036-0111 平川市小和森上平田 1-5 株メンテック・ヒロ内	0172-44-1456 / 0172-44-1457	0172-44-3711	平川市町居南田 166-3	0172-44-3711	火曜日	(第 2・4) 18:30	
	弘 前 ア ッ プ ル	八木橋宣之	ヤノヒロ 明広	036-8086 弘前市田園 1-12-1 アイエーネットワーク株内	0172-27-1333 / 0172-27-1245	0172-27-1333	弘前市田園 1-12-1 アイエーネットワーク株内	0172-27-1333	月曜日	19:00	
	青 森	小林 俊一	コバヤシ 大輔	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森 2 階	017-775-1821 / 017-777-9691	017-775-4141	青森市堤町 1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	木曜日	12:30	
	青 森 北 東	本間 義悦	ホンマ 齊藤 幸悦	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森 2 階	017-775-1821 / 017-777-9691	017-775-4141	青森市堤町 1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	水曜日	12:30	
青 森 中 央	原 三郎	ハラ 三浦 和江	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森 2 階	017-775-1821 / 017-777-9691	017-775-4141	青森市堤町 1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	月曜日	12:30		
青 森 モ ー ニ ン グ	橋本 正弘	ハシモト 坂井 哲博	030-0812 青森市堤町 1-1-23 ホテル青森 2 階	017-775-1821 / 017-777-9691	017-775-4141	青森市堤町 1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	火曜日	8:00		
八 戸	橋本ハチ石門	コダマ 小田山紀暢	031-0031 八戸市番町 14 八戸グランドホテル内	0178-43-0608 / 0178-43-0661	0178-46-1234	八戸市番町 14 八戸グランドホテル	0178-46-1234	水曜日	12:30		
八 戸 東	佐藤 晃 模	サトウ 一郎	031-0003 八戸市吹上 1 丁目 15-90 八戸パークホテル内	080-2895-7040 / 0178-36-9002	0178-43-1111	八戸市吹上 1 丁目 15-90 八戸パークホテル	0178-43-1111	金曜日	12:30		
三 戸	坂本 勝克	サカモト 矢村英一郎	039-0144 三戸郡三戸町大字六日町 16-1	0179-22-0171 / 0179-22-0163	0179-23-3231	三戸郡三戸町大字二日町 102-1 田沼本店 2 階	0179-23-3231	水曜日	12:30		
五 戸	中里 政廣	ナカサト 豊田 孝夫	039-1516 三戸郡五戸町市川道十文字 3-2 めぐみ保育園内	0178-62-3224 / 0178-62-7604	0178-62-2011	三戸郡五戸町字新町 34-3 アピル五戸	0178-62-2011	水曜日	12:30		
南 部	夏堀 剛亮	ナツホリ エイチ	039-0802 三戸郡南部町大字吉米地字下宿 23-1 シャックトオフィス 2 階 南部町商工区内	0178-38-1159 / 0178-38-1163	0178-38-1159	三戸郡南部町大字吉米地字下宿 23-1 シャックトオフィス 2 階 南部町商工区内	0178-38-1159	火曜日	12:30		
八 戸 北	千葉 哲也	チヤバ 大崎 光明	031-0081 八戸市柏崎 1 丁目 6-6 八戸プラザホテル内	0178-44-3121 / 0178-44-3128	0178-44-3128	八戸市柏崎 1 丁目 6-6 八戸プラザホテル	0178-44-3128	火曜日	12:30		
八 戸 南	慶徳 拓也	ケイトク 出貝 友吾	031-0003 八戸市吹上 1 丁目 15-90 八戸パークホテル内	0178-43-1111 / 0178-43-0264	0178-43-1111	八戸市吹上 1 丁目 15-90 八戸パークホテル	0178-43-1111	木曜日	12:30		
八 戸 中 央	山村 益広	サトウ 益広	031-0081 八戸市柏崎 1 丁目 6-6 八戸プラザホテル内	0178-44-3121 / 0178-44-3128	0178-44-3121	八戸市柏崎 1 丁目 6-6 八戸プラザホテル	0178-44-3121	月曜日	12:30 (第 1・3・5 回) 12:30 (第 2 回) 18:30		
八 戸 西	大馬 泰雅	オホウマ ヘビシガ 和憲	031-0072 八戸市城下 4 丁目 9-5 株 STARS 内 八戸ロータリークラブ事務局	0178-51-8642 / 0178-51-8643	0178-44-3128	八戸市柏崎 1 丁目 6-6 八戸プラザホテル	0178-44-3128	木曜日	12:30 (第 1・3 回) 12:30 (第 2 回) 18:30		

2024-25 年度 地区事務所組織表

役 職	氏 名	所属クラブ
地 区 ガ バ ナ ー	花 田 勝 彦	五所川原
地区ラーニングファシリテーター、パストガバナー	山 崎 淳 一	五所川原
地 区 財 務 長	木 村 康 仁	五所川原

地区事務所スタッフ

幹 事 長	総務、企画、諮問委員会担当	木 村 重 介	五所川原
副 幹 事 長	地区研修・協議会実行委員長、月信担当	今 広 樹	五所川原
副 幹 事 長	DTTS・PETS 実行委員長	平 山 敦 士	五所川原
副 幹 事 長	地区大会実行委員長	敦 賀 鉄 正	五所川原
会 計 長		寺 田 和 仁	五所川原
幹 事	DTTS・PETS 副実行委員長	浅 利 壽 信	五所川原
	地区研修・協議会副実行委員長	野 上 友 明	五所川原
	地区大会副実行委員長	阿 部 哲 也	五所川原
	公式訪問・各種事業担当	今 直 樹	五所川原
	公式訪問・各種事業担当	小笠原 崇 文	五所川原
	世界大会推進、 公共イメージ・各種事業担当（壮行会）	中 山 佳	五所川原
	RIJYEM・各種事業担当	太 田 康 成	五所川原
	RIJYEM・各種事業担当	佐 藤 昭 義	五所川原
	地区大会・クラブ会長	寺 田 明 代	五所川原
	各種事業担当（地区大会）	成 田 学 治	五所川原
	各種事業担当（地区大会）	清 野 悟	つがる
各種事業担当（地区大会）	宮 崎 敬 也	五所川原中央	
専 属 事 務 局 員		浅 利 育 子	

国際ロータリー第 2830 地区

地区規定

地区資金規定	42
地区運営資金要綱	44
会合旅費等要綱	45
国際平和資金規定	48
地区表彰実施要綱	49
ガバナー指名委員会及び地区諮問委員会規定	51
危機管理委員会規定	52
青少年保護方針	54



国際ロータリー第2830地区 地区資金規定

第1条 (総則)

国際ロータリー第2830地区の地区資金は本規定に基づいて管理運営する。

第2条 (会計年度)

地区資金の会計年度は7月1日から翌年6月30日までとする。

第3条 (地区財務委員会)

- (1) ガバナーは、地区資金運営のため、任期を異にする3名の地区財務委員を任命する。
- (2) 地区財務委員の任期は3年とする。
- (3) 7月1日時点で任期2年目となる委員をもって委員長とする。

第4条 (地区財務委員会の任務等)

- (1) 地区財務委員会は、地区資金の額及び地区の管理運営に必要な費用を検討、調査することによって、地区資金を守り、地区の財務状況に関する予算と年次報告を準備する。
- (2) 地区財務委員会は、次年度の地区予算書を、クラブ会長エレクト研修セミナー又は地区研修・協議会の4週間前までに各クラブに提出しなければならない。
- (3) 前項により提出された地区予算書については、出席した次期会長の過半数の承認により可決する。
- (4) 各クラブの負担額の決定及び変更は、クラブ会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会に出席した次期会長又は地区大会に出席した現会長の4分の3以上の承認を必要とする。
- (5) 地区財務委員会は、前項により決定された負担額の納入状況を管理する。
- (6) 地区財務委員長は、当該年度終了後3か月以内に地区資金決算書を作成して直前ガバナーに提出する。
- (7) 直前ガバナーは、前項の決算を、地区大会に出席した現会長の過半数の承認を得なければならない。

第5条 (地区会計長)

- (1) ガバナーは地区資金の保管出納のため、地区会計長を任命する。
- (2) 地区会計長は本規定に定める資金のほか、地区で扱う資金すべての保管出納の任に当たる。
- (3) 地区会計長は会計年度終了後、地区財務委員会に支払明細書を提出する。

第6条 (地区資金の払込)

- (1) 各クラブが負担する地区資金の半期あたりの額は、7月1日及び1月1日時点のRIに報告された会員数に次の金額を乗じた額とする。但し、ウ、エについては、各クラブから申請がなされ、ガバナーがこれを承認した場合に適用する。
 - ア 一般会員 1万2500円
 - イ 衛星クラブ会員 6250円
 - ウ 配偶者会員 2500円
 - エ 後継者会員 5000円
- (2) 地区財務委員長は、各クラブに対し、前項の会員数が確定した後速やかに前項の各クラブ負担額を送金先口座の情報を明示して請求する。
- (3) 各クラブは、前項により請求された金額を、7月31日及び1月31日までに前項の口座に振り込んで支払う。送金手数料は各クラブの負担とする。
- (4) 各クラブは、第1項ウ又はエの申請をするときは、地区の定める様式により、当該クラブを担当するガバナー補佐を通じて行う。地区は諮問委員会に当該申請について報告する。
- (5) 新設クラブは、第1項のクラブ負担額を、RI承認の日の属する月の翌月分から月割で負担する。

第7条 (地区資金の支出と収支報告)

- (1) 地区資金の支出を求める者は、地区予算書に基づき、地区所定の様式による請求書により、これを行う。
- (2) 地区会計長は、前項の請求がなされたときは、ガバナーの決裁を受けて地区資金を支出する。

- (3) 地区資金の支出を受けた者は、支出を証する領収証を地区に提出し、第2条の会計年度終了後2か月以内に、その活動項目と収支の明細を直前ガバナーに報告しなければならない。
- (4) 前3項の規定は、地区資金のほか、特別会計の支出にもこれを適用する。

第8条 (地区資金の用途)

地区資金は次のために使用する。

- (1) 会議・研修費
- (2) 運営活動費
- (3) 委員会活動費
- (4) 活動助成金
- (5) 地区拠出金
- (6) その他事業費
- (7) 管理費
- (8) 特別資産取得費
- (9) 予備費
- (10) その他ガバナーが必要と認め諮問委員会の承認を得たもの

第9条 (地区運営資金)

地区運営資金は、前項のうち、次の各号に要する費用とし、その額は地区運営資金要綱に定める。

- (1) クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)
- (2) 地区チーム研修セミナー(DTTS)
- (3) 地区研修委員会
- (4) 地区研修・協議会
- (5) インターシティ・ミーティング(IM)
- (6) 地区大会
- (7) ガバナー活動費
- (8) ガバナーエレクト活動助成金
- (9) ガバナーノミニー活動助成金
- (10) ガバナー補佐活動助成金
- (11) ガバナーエレクト国際協議会参加助成金
- (12) ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)参加助成金
- (13) 国際大会地区代表出席者参加助成金
- (14) 国際ロータリー諸事業参加助成金
- (15) ガバナーエレクト壮行会
- (16) ガバナー離任時の記念品代
- (17) 新設クラブ助成金
- (18) 規定審議会代議員参加費助成金
- (19) 表彰費 別に定める地区表彰実施要綱による
- (20) その他前各号に準じる費用で地区が負担す

ることが適切なもの

第10条 (会合旅費等)

地区内で行う地区の会合、研修会等の旅費、宿泊費及び登録料については、別途会合旅費等要綱に定める。

第11条 (改正)

本規定の改正は、クラブ会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会に出席した次期会長又は地区大会に出席した現会長の4分の3以上の承認により行う。

第12条 (本規定の施行時期)

本規定は2024年7月1日より施行する。

国際ロータリー第 2830 地区 地区運営資金要綱

1 地区運営資金規定（以下「規定」という。）第 9 条に定める地区運営資金の額はのとおりとする。

(1)	クラブ会長エレクト研修セミナー（PETS）	40 万円以内
(2)	地区チーム研修セミナー（DTTS）	40 万円以内
(3)	地区研修委員会	20 万円以内
(4)	地区研修・協議会（DTA）	40 万円以内
(5)	インターシティ・ミーティング（IM）	1 グループ 10 万円以内
(6)	地区大会	30 万円以内
(7)	ガバナー活動費	200 万円以内
(8)	ガバナーエレクト活動助成金	40 万円以内
(9)	ガバナーノミニー活動助成金	10 万円以内
(10)	ガバナー補佐活動助成金	1 グループ所属クラブ数 × 25,000 円
(11)	ガバナーエレクト国際協議会参加助成金	30 万円以内
(12)	ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）参加助成金	20 万円以内
(13)	国際大会地区代表出席者参加助成金	30 万円以内
(14)	国際ロータリー諸事業参加助成金	200 万円以内
(15)	ガバナーエレクト壮行会	40 万円以内
(16)	ガバナー離任時の記念品代	10 万円以内
(17)	新設クラブ助成金	10 万円以内
(18)	規定審議会代議員参加助成金	10 万円以内

2 交通費、宿泊費は次のとおりとする。

(1) 交通費

J R、私鉄、バスを利用した最短・最速の普通料金（割引運賃がある場合にはこれによる。）

但し、近距離や公共交通機関がない場合等、この算出方法によることができないときは別途定める。
近距離や公共交通機関がない場合は別途定める。

(2) 宿泊費

実費による支給とする。但し、一泊当たり地区外 12,000 円、地区内 10,000 円を上限とする。

3 本要綱の改正は、規定第 11 条に定める手続きによる。

4 本要綱は 2024 年 7 月 1 日より施行する。

国際ロータリー第 2830 地区 会合旅費等要綱

1 地区資金規定(以下「規定」という。)第10条に定める交通費、宿泊費及び登録料(以下「会合旅費等」という。)の負担は、次のとおりとする。

なお、略称は以下のとおりとする。

RI：国際ロータリー、G：ガバナー、PG：パストガバナー、LF：ラーニングファシリテーター、GE：ガバナーエレクト、GN：ガバナーノミニエ、GND：ガバナーノミニエデジグネイト、AG：ガバナー補佐、C：クラブ、SC：スポンサークラブ、ROTEX：元青少年交換学生
 ガバナー地区事務所関係者：地区幹事長、地区財務委員長、地区会計長、地区事務所事務局員
 ガバナーエレクト地区事務所関係者：次期地区幹事長、次期地区財務委員長、次期地区会計長、次期地区事務所事務局員

(1) クラブ会長エレクト研修セミナー (PETS)

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	PETS	
GE、GN、PG、次期AG 地区委員長	地区	地区	PETS	
ファシリテーター	PETS	PETS	PETS	
G、GE地区事務所関係者	PETS	PETS	PETS	

※次期地区委員長やファシリテーターが会長エレクトを兼任している場合は、交通費、宿泊費は上記のとおりとし、登録料については、ファシリテーターを担当した場合はPETS負担、それ以外は本人負担とする。

(2) 地区チーム研修セミナー (DTTS)

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区		宿泊は原則としてなし。 必要と認められる時は 地区負担。
GE、次期地区LF、 担当PG	地区	地区		
次期AG、次期地区委員長	地区	地区		
次期地区委員	地区	地区		
GE地区事務所関係者	地区	地区		

(3) 地区研修委員会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区		
GE、地区LF	地区	地区		
次期AG	地区	地区		
GE地区事務所関係者	地区	地区		

(4) 地区・研修協議会 (DTA)

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	協	
GE、GN、PG、次期AG 次期地区委員長	協	協	協	
G、GE地区事務所関係者	地区	地区	地区	
講演者、分科会担当者	協	協	協	
次期地区委員	C	C	C	
ゲスト	協	協		

(5) インターシティ・ミーティング (IM)

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区		IM	
GE、GN	本人		IM	
G、GE地区事務所関係者	地区		地区	

(6) 地区大会 (地区指導者育成セミナーを含む)

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
RI会長代理夫妻	RI	大会	大会	地区内PG、GE、GN、GND、AG、地区委員長及び地区委員は交通費、宿泊費及び登録料いずれも本人の負担とする。
G夫妻	地区	地区	大会	
ガバナー地区事務所関係者	地区	地区	大会	
ゲスト	大会	大会		
他地区G、PG、GE	本人	本人	本人・大会	
姉妹地区G、直前G、GE	本人	大会	大会	
来日交換学生	スC	スC	大会	
派遣交換学生	本人	本人	大会	
ROTEX	本人	本人	大会	
R財団学生	スC	スC	大会	
R財団学友	本人	本人	大会	
R米山奨学生	スC	スC	大会	
R米山学友	本人	本人	大会	
インターアクター	スC	スC	大会	
ローターアクター	スC	スC	大会	

(7) ガバナーエレクト壮行会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G夫妻	地区	地区	壮行会	
GE夫妻	地区	地区	壮行会	
PG、GN、GND	本人	本人	本人	
次期AG	本人	本人	本人	
次期地区委員長	本人	本人	本人	
次期クラブ会長及び幹事	本人	本人	C	
G地区事務所関係者			地区	
GE地区事務所関係者	地区	地区	地区	

(8) 地区委員会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区		宿泊は原則としてなし。 必要と認められるときは 地区負担。
担当PG、GE、GN、 GND、AG	地区	地区		
G地区事務所関係者	地区	地区		
関係地区委員長、地区委員	地区委員会	地区委員会		

(9) インターアクト・ローターアクトの指導者講習会、年次大会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	地区	
担当PG、GE、GN GND、AG	地区委員会	地区委員会	地区委員会	
G地区事務所関係者	地区	地区	地区	
関係地区委員長、地区委員	地区委員会	地区委員会	地区委員会	

(10) 友好地区交流事業

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
当地区関係者	本人	本人	本人	
友好地区関係者	本人	本人	交流会	

- 2 前項の会合と同一の日に諮問委員会が開催される場合は、諮問委員会出席義務者の交通費は地区が負担する。
また、GE、GN、ガバナー・ガバナーエレクト地区事務所関係者等が、諮問委員会に出席を要請されて出席した場合の交通費は地区が負担する。
- 3 第1項の会合が出席者の所属クラブと同一市町村にある場合は、交通費及び宿泊費を支給しない。
- 4 ゾーン、地域や全国規模のセミナー等に参加する場合、出席義務のあるPG（ゾーン、地域の役員を含む）、地区委員長及びその代理者の交通費、宿泊費は、ガバナーが指名した範囲で地区が負担する。
- 5 副ガバナーがガバナーの代理として地区内の会合に出席する場合、会合旅費等の負担は、ガバナーの欄を適用する。
- 6 本要綱の改正は、規定第11条に定める手続きによる。
- 7 本要綱は2024年7月1日より施行する。



国際ロータリー第 2830 地区 国際平和資金規定

- 1 国際平和資金は次に定める事項に支出するものとする。
 - (1) 世界社会奉仕プロジェクト及びプロジェクト参加に必要な経費
 - (2) 世界及び日本の災害救援プロジェクト
 - (3) 諮問委員会の審議を経て承認された国際奉仕部門及び青少年奉仕部門のプログラム
- 2 本規定の改正は、地区資金規定第 11 条を準用する。
- 3 本規定は 2024 年 7 月 1 日より施行する。

地区表彰実施要綱

1. R I、R財団及び地区の行う各種の表彰は、本要綱により地区表彰委員会が選考して実施する。
2. 表彰委員会はガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト及び各ガバナー補佐をもって構成する。

《R I 表彰》

(1) クラブの表彰

- ①クラブ優秀賞（ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ）
- ②意義ある奉仕賞
- ③世界インターアクト週間の表彰
- ④世界ローターアクト週間の表彰
- ⑤インターアクト・ビデオ賞
- ⑥卓越したローターアクト・プロジェクト賞

(2) 個人の表彰

- ①奉仕部門賞（地区による表彰）
- ②奉仕部門賞（R Iによる表彰）
- ③ロータリー財団功労表彰
- ④ロータリー財団特別功労賞
- ⑤ロータリー財団地区奉仕賞
- ⑥超我の奉仕賞
- ⑦ポリオのない世界を目指す奉仕賞
- ⑧ポリオプラス・パイオニア賞

(3) ロータリアン以外の表彰

- ①ロータリー最優秀学友会賞
- ②ロータリー学友世界奉仕賞
- ③ロータリー人道奉仕功労賞

《地区表彰》

- ①奉仕活動優秀クラブ及びロータリアン
- ②会員増強優秀クラブ
- ③出席成績優秀クラブ
- ④広報活動優秀ロータリークラブ
- ⑤ロータリー財団寄付成績優秀クラブ及びロータリアン
- ⑥米山記念奨学会寄付成績優秀クラブ及びロータリアン
- ⑦国際平和資金寄付優秀クラブ
- ⑧長寿ロータリアン
- ⑨その他当委員会で適当と認めたもの

3. 表彰基準

《R I 表彰》

R Iの表彰基準による。各クラブへ公示し、ガバナーが判断しR Iに推薦決定、審査される。

《地区表彰》

地区の行う各種表彰は、以下の基準によるものとする。ただし、表彰委員会の判断により、その年度の個別事由により本基準の主旨に沿った上での変更は認めるが、その際は、その後開催される地区



諮問委員会に報告するものとする。

(1) 奉仕活動優秀クラブ及びロータリアン

①クラブ表彰

当年6月末日までにガバナー補佐を通じて、各グループ内から奉仕活動優秀クラブを地区表彰委員会に提出させ審査の上、各部門においてそれぞれ最も優れたクラブを決定し表彰する。

②ロータリアン表彰

- ・表彰者の決定は前項に準ずるが、表彰に際しては、表彰状に添えて記念品を贈呈する。
- ・ガバナー補佐又はクラブ会長が表彰を申請するに当たっては文書のみにより優秀性が判定出来るだけの業績を必ず添付するものとする。

③特別表彰をガバナーが実施する。

(2) 会員増強優秀クラブ

- ・前年度中における会員の純増加数が5名以上又は増加率が10%以上のクラブとし、(同率の場合は同順位とする)表彰する。

(3) 出席優秀クラブ

- ・プラチナ賞 (例会月4回、95%以上)
- ・ゴールド賞 (例会月3回以下、95%以上)
- ・シルバー賞 (例会月4回、90～95%未満)
- ・ブロンズ賞 (例会月3回以下、90～95%未満)

(4) 広報活動優秀ロータリークラブ

週報の発行や地域社会で広報活動の優秀なロータリークラブを表彰する。

(5) ロータリー財団寄付優秀クラブ及びロータリアン (新PHF)

①クラブ表彰

- ・直近5年間 (設立5年未満の場合は設立から) の平均を上まわったクラブ (ただし地区目標を上まわったクラブ)

②ロータリアン表彰

- ・成績優秀ロータリアンは当該年度の新PHF全員及び大口寄付者等、委員会で認めたものとする。
- ・ロータリアンには記念品を贈呈する。

(6) 米山記念奨学会寄付優秀クラブ及びロータリアン

①クラブ表彰

- ・直近5年間 (設立5年未満の場合は設立から) の平均を上まわったクラブ (ただし地区目標を上まわったクラブ)

②ロータリアン表彰

- ・成績優秀ロータリアンは当該年度の新米山功労者全員とする。
- ・ロータリアンには記念品を贈呈する。

(7) 国際平和資金寄付優秀クラブ

- ・当該年度中の1人当たりの寄付金額 (年間の寄付金額を6月末現在の会員数で除した金額) の多いクラブから5位までを優秀クラブとする。

(8) 長寿ロータリアン

- ・当年6月末日までに満80歳及び90歳に達したロータリアンに記念品を贈呈する。

4. 上記各種表彰は、地区大会又は地区研修・協議会等において実施する。

5. 本要綱の設定改廃は、地区表彰委員会が発議し、地区諮問委員会の承認を得るものとする。

ガバナー指名委員会及び地区諮問委員会規定

1 ガバナー指名委員会

- (1) 資格
最近5人のパストガバナーにより構成する。
- (2) 職務
地区ガバナーの指名に当たる。

2 地区諮問委員会

- (1) 資格
パストガバナーにより構成する。
- (2) 職務
 - ① ガバナーの要請により重要事項の諮問に預かる。
 - ② ガバナーの要請により重要会議のコーディネーター、パネリストのほか、地区代議員等の職務に就く。
- (3) 出席資格
ガバナーエレクト及びガバナーノミニーは、地区諮問委員会にオブザーバーとして出席する。また、地区幹事長、次期地区幹事長等も、ガバナーの要請があればオブザーバーとして出席することができる。

3 会合旅費等

前2項の会合旅費等は、地区資金規定第10条の定めによる。

4 本規定の施行時期

本規定は2024年7月1日より施行する。



国際ロータリー第 2830 地区 危機管理委員会規定

(名 称)

第1条 国際ロータリー第 2830 地区は、危機管理委員会（以下、「本委員会」という。）を設置し、その組織及び運営に必要な事項に関して、この規定を定める。

(設立趣旨)

第2条 本委員会は、国際ロータリー第 2830 地区（以下、「地区」という。）が実施する事項に関し、地区内各ロータリークラブ及びロータリアンにとって「好ましくない事態の全て」を「危機」とし、当委員会に報告のあった危機事案が当委員会の対処すべき事案であるか否かの判断を行った上で、その予防と対処、解決のために必要な提言、指導、助言を行うことを任務とする。

但し、ロータリークラブ内、或いはロータリアン相互間の人的・内的諸問題は除く。

(対象プログラム：特に青少年奉仕関連プログラム)

第3条 本委員会の対象とするロータリーのプログラムは、前条の「危機」が発生する分野全てとなるが、18歳以上の成人が関与する場合は、日本国の法律に準拠することを原則とし、本委員会の対処すべき事案と看做さない場合がある。

青少年奉仕（新世代育成）プログラム、すなわち青少年交換・インターアクト・RYLA・米山記念奨学等のプログラムにおいては、それに参加する全ての青少年（新世代）が、安全かつ健全な生活を送れるよう、生活の場で起こりうる交通・自然災害、テロ、身体的・性的・精神的侵害ないし虐待（ハラスメント）、政治的・民族的紛争などの危機に対応する。この青少年奉仕関連プログラムは、本委員会の重要対象として位置付けることとする。

(委員会の任務・業務)

第4条 本委員会は、次に掲げる任務・業務を行う。

- (1) 委員会任務：委員長によって招集された本委員会は、事態発生の場合、事実関係を調査し、対応を協議する。
- (2) 通 報：本委員会は、当該被害者及び申立人よりの事情聴取調査、その他必要な調査の後、法令に基づく所定の機関への通知などの要否を判断する。申し立てられた内容が犯罪に該当する場合は、速やかに捜査機関に通報する。
- (3) 保 護：本委員会は、該当被害者の身体、身分の保護を最優先に対処するとともに人権にも留意する。特に、将来ある青少年のため、国際ロータリーはいかなる虐待やハラスメントも容認しない「非寛容」方式を各地に要請している。本委員会も厳格な規律をもつとともに、特に未然防止に努めることを主眼とする。
- (4) 連 絡：本委員会は、必要と認めた場合には、事情聴取調査の結果を速やかに地区ガバナーへ報告し、地区ガバナーは、原則として72時間以内に、国際ロータリーに報告する。
- (5) 広 報：報道機関等の外部への対応は報道担当委員がこれに当たる。報道担当委員以外は、本委員会といえども、外部への一切の発言はこれを禁止する。
- (6) 守 秘 義 務：本委員会の委員は、その任務の遂行上知り得た情報を、その在任中のみならず、退任後も外部及び他のロータリアン等に口外してはならない。
- (7) 研 修：本委員会は、年1回以上の委員会会議を開催する。また危機管理についての研修を必要に応じて開催する。
- (8) そ の 他：その他、危機管理、防止などに必要な業務を行う。

(委員会の組織)

第5条 本委員会は下記委員をもって組織する。

- (1) 当該年度の地区ガバナーが指名するパストガバナー、またはガバナー補佐を委員長とし、直前ガバナー、ガバナーエレクト、国際奉仕委員長、青少年奉仕委員長、青少年交換委員長、ロータリー米山記念奨学委員長、広報委員長、及びその他関連する委員会委員長・委員、そしてロータリー以外の

外部有識者若干名（2名以上）をもって組織する。なお、委員には、女性、医師、弁護士を各1名以上含むものとする。

- (2) 委員長は、必要に応じて副委員長を任命することができる。
- (3) 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- (4) 委員長は委員会を招集し、業務を統括する。

(保険と多地区法人への加入)

第6条

- (1) 本委員会は、ロータリーの事業に携わるロータリアン及び関係社会人は、全ての個人が健康保険、生命保険等に加入していることを、その任務の前提とする。また国際間の交換学生、留学生、その他のロータリー関連事業での訪問者は、個人として、その事業の開始（出国）から終了（帰国）までの期間を包含する生命・病気・障害・損害等の保険に加入することを強く推奨する。
- (2) 近年の「危機」には、ロータリークラブレベル、さらには地区レベルでの対応可能範囲を超える規模をもつ巨大大事故、巨大災害、テロ事件、機密事項、個人情報漏洩等が含まれる。適切な地域や国の行政当局、国際機関との連携も必要となろうが、そのような事態に備えて、対応可能な保険に加入する必要が生じている。

但し、任意団体での保険加入は不可能なので、「一般社団法人 国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構」(RIJYEM)等の多地区（マルチ・ディストリクト）レベルの機関を受け皿にした保険機構への加入を推進する。

(事務所)

第7条 本委員会の事務所は地区事務所に置く。

◆附則

- 1. この規定は、2017年2月1日から施行する。
- 2. この規定の改廃は、必要に応じてガバナーが見直し、ガバナー諮問委員会に相談の上、改定することが出来る。

2024-25年度 危機管理委員会

1	委員長	パストガバナー	鈴木 唯 司	青森モーニング	医師
2	委 員	ガバナー	花 田 勝 彦	五所川原	弁護士
3		直前ガバナー	築 舘 智 大	八戸	
4		ガバナーエレクト	米 谷 恵 司	青森モーニング	
5		公共イメージ向上委員長	工 藤 孝 子	弘前東	
6		国際奉仕委員長	柴 田 文 彦	むつ中央	
7		青少年交換委員長	岡 山 信 広	六ヶ所	
8		インターアクト委員長	松 山 隆 志	野辺地	
9		ロータアクト委員長	竹 内 知 弘	弘前西	
10		RYLA 委員長	三 浦 基	青森	
11		米山記念奨学委員長	佐 藤 一 尚	青森	
12		外部有識者			
13		外部有識者			
14		外部有識者			

国際ロータリー第 2830 地区 青少年保護方針

- 1 国際ロータリー第2830地区(以下「当地区」という。)は、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリー会員、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くさなければならない。
- 2 当地区は、虐待およびハラスメントに対して、いかなる違反も法規適用する方針(ゼロ容認方針)を有する。
- 3 クラブ会長の責務
 - (1) クラブ会長は、関連するクラブ委員会のサポートのもと、クラブによる青少年活動の運営と手配の全般的な責任を有する。
 - (2) クラブ会長及び関連するクラブの委員長は、国際ロータリーと当地区の青少年保護方針を把握し、必要に応じて研修を受講あるいは実施し、ボランティアを審査し、リスクを管理する。
 - (3) 青少年から虐待やハラスメントの申し立てがあったときは、クラブ会長は、ガバナー及び次項に定める担当地区委員長等と協力してこれに対応するとともに必要事項を報告し、申し立ての対象となったロータリアンと当該青少年との接触を断つ等青少年保護に必要な安全策を講じるものとする。
- 4 地区委員長の責務
 - (1) 地区危機管理委員会の委員となる地区委員長(以下「青少年関連委員長」という。)は、青少年プログラムにおけるクラブとの窓口となり、クラブを支援する。
 - (2) 青少年関連委員長は、青少年の安全に対する認識を高め、この青少年保護方針をクラブが遵守するよう指導する。
 - (3) 青少年関連委員長は、クラブ会長等が行う前項(2)の行為を援助する。
 - (4) 青少年関連委員長は、クラブ会長等から虐待やハラスメントの申し立てがあったときは、速やかにガバナーに報告の上、ガバナーと協力してこれに対応し、必要な報告を行う。
- 5 ガバナーの責務
 - (1) ガバナーは、地区の全会員が青少年のために安全な環境を積極的に作ることを奨励し、青少年奉仕における地区の取り組みを確立する責任を負う。
 - (2) ガバナーは、地区の青少年プログラムと活動のすべてを管理し、監督する。
 - (3) ガバナーは、適切な青少年保護方針が作成、施行されていることを確認し、青少年保護に関する知識と熱意をもった青少年関連委員長を任命する。
 - (4) ガバナーは、地区内で虐待やハラスメントの申し立てがあった場合、クラブ会長や青少年関連委員長等と連携して、迅速にこれに対応しなければならない。
 - (5) ガバナーは、虐待やハラスメントの申し立てがあった旨の報告を受けてから72時間以内に国際ロータリーに報告するものとする。
 - (6) ガバナーは、虐待やハラスメントを理由としてロータリー活動への参加を禁止された人や退会した人の記録を維持、更新する。
- 6 当地区又はクラブは、虐待やハラスメントの申し立てがあったときは、適切な調査を行い、再発防止策を策定し、必要に応じて捜査機関への告発等を行う。
- 7 クラブは、前項の申し立てと調査に基づき、被申告者が虐待やハラスメントの事実を認め、あるいは刑事事件で有罪判決が確定した場合には、当該会員の会員身分を終結するものとする。

A close-up photograph of a woman in an orange sari administering a vaccine to a young child. The woman is holding a small glass vial and a needle, and the child is looking up at her. The background is softly blurred, showing green foliage.

ロータリーと共に

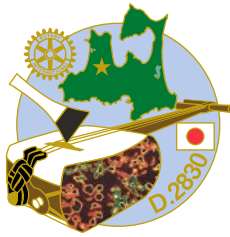
ポリオをなくそう

みんなが健康でこそ豊かな地域社会となると、ロータリーは信じています。だからこそ私たちは、25億人以上の子どもへのポリオ予防接種を粘り強く続けてきました。「世界を変える行動人」である私たちが目指すのは、人びとの命を奪う疾患を撲滅すること。Rotary.orgからあなたもご参加ください。

Rotary



世界を変える行動人



Rotary
District 2830

